

令和4年度

事業報告書

目 次

総 括	1
I 社会福祉事業	
1 法人運営	
(1) 組織の運営	3
(2) 組織体制基盤の強化	7
(3) 福祉功労者表彰	8
(4) 会員募集	10
(5) 災害時対応	11
(6) 就労準備等出かける場づくり事業	12
(7) 社会福祉士相談援助実習生受入事業	12
2 地域福祉ネットワーク	
(1) 佐倉市地域福祉活動計画の推進・策定	13
(2) 地区社会福祉協議会活動の推進	16
(3) 地域福祉コーディネーターの設置	19
(4) 団体活動支援・連携	21
(5) さくらあったか食堂ネットワーク	25
3 ボランティアセンター	
(1) ボランティア活動の普及・推進	33
(2) 佐倉市ボランティア連絡協議会の活動支援	38
(3) 福祉教育推進事業	39
4 企画広報	
(1) 広報啓発事業	40
5 善意銀行	
(1) 金銭、物品の預託、払い出し	41
(2) 小口貸付事業	41
(3) フードドライブへの協力	41
6 在宅福祉	
(1) ふれあい・いきいきサロン事業	42
(2) ふれあい型食事サービス事業	42
(3) おもちゃ図書館	42
(4) 車イス貸出事業	43
(5) 菊地久治奨学福祉事業	44
(6) 法人後見事業	47
(7) 移動サービス事業	49
(8) 生活困窮世帯子ども支援事業	51
(9) 終末ケア・終活支援事業	51

7	福祉総合相談事業	5 2
8	受託事業	
(1)	声の広報等発行事業	5 4
(2)	生活福祉資金貸付事業	5 5
(3)	日常生活自立支援事業	5 7
(4)	成年後見支援センター	6 1
(5)	生活困窮者自立支援事業	6 4
(6)	介護人材確保対策事業	7 1
9	基金	
(1)	福祉基金	7 4
(2)	菊地久治勉学奨励基金	7 4
(3)	元気に育て子ども基金	7 4
(4)	稲垣成こ勉学奨励基金	7 4
(5)	福得孝養基金	7 4
10	共同募金配分事業	
(1)	歳末たすけあい運動	7 5
(2)	児童福祉事業	7 6
11	共同募金事業への協力	7 7
12	居宅介護	
(1)	障害福祉サービス事業	7 8
(2)	訪問介護員派遣事業	7 8
(3)	相談支援事業	7 9
13	介護保険	
(1)	訪問介護事業	8 0
(2)	居宅介護支援事業	8 2
II	公益事業	
1	指定管理事業	
(1)	西部地域福祉センターの管理運営	8 4
III	収益事業	
1	手数料の収入	8 9
■	役員・評議員名簿	9 0

令和4年度 事業報告(総括)

佐倉市の地域福祉活動の現場では、コロナ禍の影響を受け、不自由な状況が長く続いてきました。この間、住民同士が顔と顔を合わせる活動がなかなか出来ず、躊躇されるとともに、私たちが取り組む地域福祉推進の歩む速度はスローダウンさせられる状況でした。

しかし、こうした状況下にあっても、各地区社協やボランティアグループの活動は、コロナ禍に対応すべくいくつもの創意工夫した活動が開発され、実践的に繰り返し試みるなどの行動が生まれてきました。

地域活動の場に“リモート”という新たな領域が生まれたことで、新たなスタイルが加えられ、停滞や後退することなく地域福祉の成長の形が確立されてきたと言えます。

地域福祉活動の実践は、『WiTH コロナの時代だからこそ、人と人のつながりをより深く広げよう』という強い気持ちを高めることになり、私たち社会福祉協議会は、歩みを止めることなく前に進み続けてきました。

今年度は「ともに歩むふくしプラン4」の2年目を迎え、福祉委員の方々やボランティアのみなさんをはじめ、多くの市民に参画いただきながら「地域の課題は、地域で解決できる地域づくり」に向けて活動してまいりました。

【重点実施事項】

1. とともに歩むふくしプラン4の推進及び地域福祉コーディネーターモデル事業の実践は、プラン4完結への改善点を検証するとともに、次期計画策定に着手し、私たちが目標とする「地域の課題を 地域で解決できる 地域づくり」を目指して計画的に取り組めます。

コロナ禍による地域福祉活動の停滞は、プランの推進にも大きな影響を与えました。しかし、過去2年間の経験を活かした創意工夫が市社協・地区社協ともに随所に見られ、事業・活動に反映されました。地域福祉コーディネーターモデル事業は、対象地区社協や関係機関との連携を重視しながら、アウトリーチを通じて地域を知る、地域課題を知ることにも努めました。また、次期計画策定に向けて、事務局や推進委員会にて計画骨子案の検討を重ね、基本目標及び重点実施事項を取りまとめました。

2. 地域活動支援とともに、地域課題を受け止めて解決へ導く存在としての役割や存在価値を、広く市民に知らしめるとともに、活動の担い手や財源となる寄附を積極的に呼びかけます。

長引くコロナ禍にあって、地区社協による地域福祉活動は、サロン等の集う場の活動は見合わせを余儀なくされましたが、支えあいサービスは生活に密着する支援として、可能な限り活動を継続し、地域課題の解決に大きく貢献しました。地域福祉コーディネーターのアウトリーチによる支援では、個別課題を受け止めて、行政や関係相談機関へつなぐとともに、地区社協や各種団体による地域福祉活動へつなぐことで地域課題の情報を共有し、地域福祉の活性化を推進しました。

3. ICT を活用し、業務効率化による財務状況の安定を図るとともに、法人内における各事業間・所属間の情報共有と対象者支援の連携体制を構築し、業務(サービス)の質の向上や新たなサービスの創出の実現をめざします。

各事業間・所属間の情報共有と対象者支援のための連携体制の構築は、まだ研究の段階であり、支援対象者の個人情報保護を考慮しながら、引き続き業務(サービス)の質の向上及び法人内の連携強化に向けて取り組んで参ります。また、新たなグループウェアの導入により、スケジュール管理に加え、会議室・備品等の貸し出し管理や業務日誌の作成、簡易な決裁をシステム化して事業効率を高めるとともに、消耗品等の経費節減に努めました。

以下、令和4年度の各事業の概要を報告いたします。

I 社会福祉事業

1 法人運営

(1) 組織の運営

市町村社会福祉協議会の法的根拠と社会福祉事業について

市町村社会福祉協議会は、社会福祉法第109条(昭和26年3月29日法律第45号)に規定された社会福祉法人です。

この法律は、社会福祉を目的とする事業の全分野における共通的基本事項を定め、社会福祉を目的とする他の法律と相まって、福祉サービスの利用者の利益の保護及び地域における社会福祉の推進を図るとともに、社会福祉事業の公明かつ適正な実施の確保、及び社会福祉を目的とする事業の健全な発達を図り、もって社会福祉の増進に資することを目的としたものです(法第1条)

市町村社会福祉協議会の事業(法第109条抜粋)

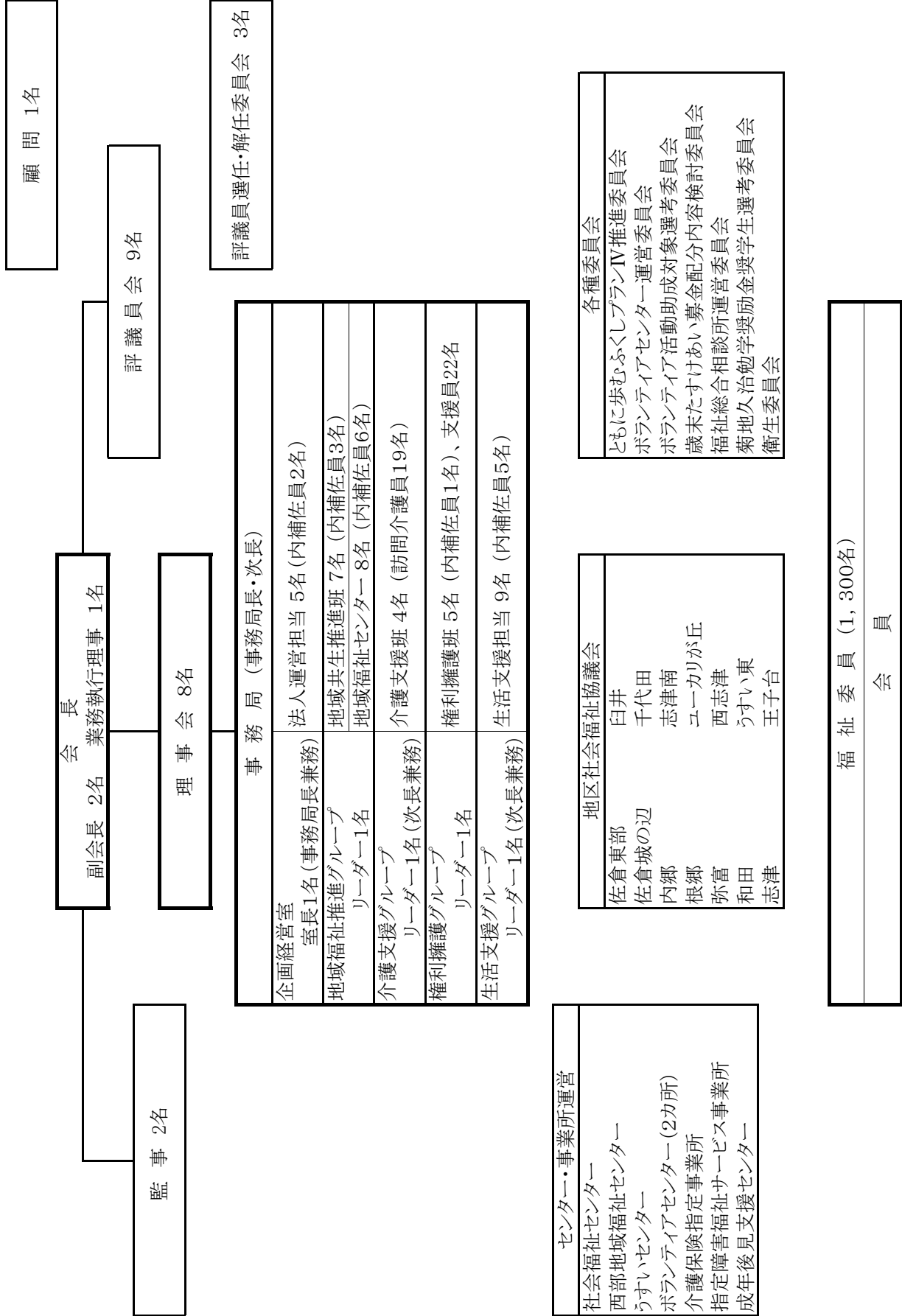
- ①社会福祉を目的とする事業の企画及び実施
- ②社会福祉に関する活動への住民の参加のための援助
- ③社会福祉を目的とする事業に関する調査、普及、宣伝、連絡、調整及び助成
- ④前3号に掲げる事業のほか、社会福祉を目的とする事業の健全な発達を図るために必要な事業



“ ふうりっふ ”

佐倉市社会福祉協議会マスコットキャラクター

■ 社会福祉法人佐倉市社会福祉協議会の組織（令和5年3月31日現在）



(ア)理事会の開催

回数	開催日時	会場	出席者	上程議案
第1回	5月27日(金) 午後2時～	2階会議室	理事8名 監事2名	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度事業報告の承認 ・令和3年度資金収支決算の承認 ・事務局規程の一部改正 ・管理職職員の任免 ・定時評議員会の招集
臨時	8月19日(金) 午後1時30分～	2階会議室	理事7名 監事1名	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険法に基づく訪問介護事業並びに居宅介護支援事業の終了について
第2回	11月11日(金) 午後1時30分～	2階会議室	理事8名 監事2名	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度被表彰者の選定 ・移動サービス事業運営規程の一部改正
第3回	2月17日(金) 午後1時30分～	2階会議室	理事8名 監事2名	<ul style="list-style-type: none"> ・給与規程の一部改正 ・事務局規程の一部改正 ・管理職職員の任免
第4回	3月10日(金) 午後1時30分～	2階会議室	理事7名 監事2名	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度事業計画の承認 ・令和5年度予算の承認 ・令和4年度補正予算の承認 ・職員就業規則の全部改正 ・嘱託員就業規則の制定 ・再雇用者就業規則の制定 ・補佐員就業規則の制定 ・職員給与規程の制定 ・嘱託員給与規程の制定 ・再雇用嘱託員給与規程の制定 ・再雇用補佐員給与規程の制定 ・補佐員給与規程の制定 ・通勤手当支給規程の制定 ・旅費支給規程の全部改正 ・育児・介護休業等に関する規程の制定 ・職員等の私傷病等による休職及び復職に関する規程の制定 ・職場におけるハラスメントの防止に関する規程の制定 ・内部通報(公益通報)に関する規程の制定 ・評議員選任・解任委員会委員の選任 ・令和5年度役員等賠償責任保険の契約 ・契約の締結 ・管理職職員の任免 ・評議員会の招集

(イ) 評議員会の開催

回数	開催日時	会場	出席者	上程議案
第1回 (定時)	6月22日(水) 午後1時30分～	地下研修室	7名	・令和3年度資金収支決算の承認 ・令和3年度事業報告
第2回	3月22日(水) 午後1時30分～	2階会議室	6名	・介護保険法に基づく訪問介護事業及び居宅介護支援事業について ・令和5年度事業計画の承認 ・令和5年度資金収支予算の承認 ・令和4年度資金収支補正予算の承認 ・評議員・理事・監事の報酬等支給基準の承認

(ウ) 監事による監査(定款第22条に基づく)

実施日	会場	出席者	内容
5月13日(金) 午後1時30分～	2階会議室	2名	令和3年度事業報告、決算の監査

(エ) 内部会計監査(経理規程第72条に基づく)

実施日	会場	内容
7月8日(金) 午後1時30分～	会長室	令和3年度 10月～3月分会計処理状況
9月16日(金) 午後1時30分～	会長室	令和4年度 4月～6月分会計処理状況
11月18日(金) 午後1時30分～	会長室	令和4年度 7月～9月分会計処理状況
2月9日(木) 午後1時30分～	会長室	令和4年度 10月～12月分会計処理状況

(2) 組織体制基盤の強化

(ア) 衛生委員会

実施日	会場	出席者	内容
7月14日(木) 午後1時30分～	会長室	3名	<ul style="list-style-type: none"> ・職員定期健康診断について ・職場巡視について ・ストレスチェックの実施について ・新型コロナウイルス関連について
2月9日(木) 午後1時30分～	会長室	3名	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度職場巡視の総括について ・職員の健康管理について <ul style="list-style-type: none"> ①健康診断の総括について ②ストレスチェック実施結果について ・新型コロナウイルス職域接種について ・次年度の衛生業務計画について ・その他(事故等の発生報告について)

(イ) 産業医衛生業務

実施日	業務内容
4月14日(木)	令和4年度業務打ち合わせ、社会福祉センター執務場所等の状況確認
5月12日(木)	西部地域福祉センター執務場所等の状況確認、職員健康相談、面接
6月9日(木)	職員健康相談、面接(事務局)
8月18日(木)	職員健康相談、面接(事務局)
9月15日(木)	職員健康相談、面接(西部地域福祉センター)
10月13日(木)	職員健康相談、面接(事務局)
11月10日(木)	職員健康相談、面接(事務局)
12月15日(木)	職員健康相談、面接(事務局)
1月12日(木)	職員健康相談、面接(事務局)
3月9日(木)	職員健康相談、面接(事務局)

(3) 福祉功労者表彰

(ア) 福祉功労者表彰

日 時	コロナウィルス感染拡大の状況を鑑み福祉功労者表彰式は中止
会 場	
被表彰者	100個人・団体
内 容	社会福祉の発展に功労のあった方々を表彰するとともに、これからの地域福祉のあり方や、本会が果たすべき役割の整理と活動の強化に繋げることを目的して実施。

1) 特別功労賞(会長表彰後10年以上)《16名》

石塚孝男、井田陽一、大蔵文子、岡村芳樹、小野玲子、佐川章、佐藤喜美子、染谷輝、近友三郎、橋本允之、古川千枝子、宮坂理恵、宮田みどり、村田法子、森田正子、渡辺章二

(敬称略)

2) 会長表彰

・役員・評議員・委員(8年以上)《43名》

池田辰治、石川利治、石田裕美、石渡あけ海、伊藤千津子、岩淵孟、大嶋和俊、大森久美子、岡崎好子、岡田武、岡野高明、岡村敦子、貝塚幸司、加藤健、金子和美、唐澤康人、木村宏、熊谷和子、栗原妙子、小林慎一朗、小林みき、酒井美恵子、佐藤紀八郎、嶋田進、嶋野己次、城陽子、菅原かおり、杉山公志、鈴木康正、砂川哲男、高澤勇、高橋莞爾、土屋志郎、長島成幸、羽野保代、日暮理恵子、平川恵子、松村靖、山崎喜弘、山下等、山田しのぶ、吉岡裕子、吉谷悦子

(敬称略)

3) 会長感謝状

(a) 多額寄付者

〔個人〕(3万円以上)《8名》

内田聡、酒井久男、立石光夫、根本榮彦、波多野稔夫、早坂光恵、細谷幸平、盧俊雄

(敬称略)

〔団体〕(10万円以上)《10団体》

佐倉商工会議所、佐倉商工会議所女性会、佐倉市民カレッジ文化祭実行委員会、佐倉ロータリークラブ、生活協同組合コープみらい、株式会社ディーシーエム、TOTOバスクリエイトUNION、株式会社フジクラ佐倉事業所、明治安田生命保険相互会社佐倉南営業所、山万グループ
 ※山万グループは6社連名 ※山万(株)、ワイエム総合サービス(株) 山万ウイシュトンホテル(株)、光陽(株) (株)ユーカリファーム (福)ユーカリ優都会

(b) 福祉活動功績者

〔個人〕《3名》

佐藤辰夫、寺田純子、山本淳子

(敬称略)

〔団体〕《8団体》

青い鳥の会、アロハ・プア・ナニ、、絵本読み聞かせじいじ・ばあばの会、かぐや姫、佐倉路地裏探検隊、熟年元気塾、ほっとすぺーす・つき、花の散歩道

(c)特別会員

〔個人〕(10年以上)《1名》

大野和子

(敬称略)

〔個人〕(20年以上)《1名》

三村富美子

(敬称略)

〔個人〕(30年以上)《1名》

渡貫博孝

(敬称略)

〔個人〕(40年以上)《1名》

山本元宣

(敬称略)

〔団体〕(10年以上)《1団体》

社会福祉法人大山 ときわの杜

〔団体〕(20年以上)《3団体》

社会福祉法人清明会 ケアハウスくつろぎの里、社会福祉法人千歳会、社会福祉法人富裕会 特別養護老人ホームゆたか苑

(敬称略)

〔団体〕(30年以上)《4団体》

社会福祉法人佐倉厚生会 特別養護老人ホームさくら苑、社会福祉法人誠友会 特別養護老人ホーム佐倉白翠園、佐倉ロータリークラブ、塚田商事株式会社

(イ) 千葉県社会福祉大会

日 時	令和4年11月9日(水)
会 場	青葉の森公園芸術文化ホール
主 催	千葉県、社会福祉法人千葉県社会福祉協議会、社会福祉法人千葉県共同募金会

a 千葉県社会福祉協議会会長表彰

○民生委員・児童委員功労者《2名》

佐久間貴久、尾瀬秀子

(敬称略)

○社会福祉施設・団体関係役職員功労者《5名》

小川盛、大里秀巳、森由美子、日野史生、鈴木嘉津子

(敬称略)

b 千葉県共同募金会会長表彰

○共同募金奉仕功労者 表彰《6名》

小川美津子、久米富雄、染谷光雄、関本正弘、市橋敬子、藤江潔

(敬称略)

c 共同募金優良地区・団体《2団体》

二番町町内会、袋町町内会

(4) 会員募集

実施内容

会員制度は、組織の根幹をなすものであり、会員が納入する会費は、社協活動の貴重な自主財源であることから、説明用スライドを使用し社協説明会において説明したり、地区社協や地域の懇談会等の機会を捉えて会員制度についてのPRに努めた。
また、自治会に対しては個別に訪問する機会をいただき、理解を求めた。

(ア) 会員数および会費収入金額

会員区分	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般会費	34,468世帯	35,019世帯	37,132世帯
	17,234,331円	17,509,803円	18,566,119円
賛助会費	111人	71人	55人
	123,000円	83,000円	56,000円
特別会費(個人)	116人	110人	114人
	296,000円	272,000円	272,000円
特別会費(団体)	92団体	92団体	96団体
	930,000円	930,000円	970,000円
合 計	34,787組	35,292組	37,397組
	18,583,331円	18,794,803円	19,864,119円

(イ) 自治会・町会・区代表者への社協説明会

期 日	地 区	会 場
4月23日(土) 10:00~11:00	新任地区代表者(希望者)	中央公民館ホール
4月23日(土) 14:00~15:00	新任地区代表者(希望者)	中央公民館ホール

(ウ) 法人会員募集の強化

法人会員拡大をめざし、各団体への説明、資料送付等を行い、会員募集の強化を図った。法人運営の財源基盤の拡充に向けて、今後も取り組みの強化を図っていく。

(5) 災害時対応

実施内容

佐倉青年会議所と連携して防災をテーマにした研修を行い、佐倉青年会議所の行事や市民防災訓練にブース出展して災害ボランティアセンターの紹介を行った。また佐倉市災害ボランティアセンターネットワーク会議及び研修会を実施し、団体同士の情報交換と災害支援に向けて連携構築を行った。

(ア) 市民協働課ボランティアセンター訓練

船橋セーフティリーダー主催によるITを活用した災害ボランティアセンター運営訓練に参加した。県内の社協からの多数の参加があり交流を図った。

開催日時	令和4年7月13日(水)10時～11時30分
会場	船橋市総合教育センター
参加者	30名

(イ) 笑顔deつながるふくしフェスタ ～手と手と手・つながる！明るい未来～

佐倉青年会議所主催のイベントに災害ボランティアセンターとしてブース出展し、パネル展示による活動紹介を行った。また、奨学福祉事業の奨学生にイベント運営のボランティアスタッフとして参加いただいた。

開催日時	令和4年8月28日(日) 10時～15時
会場	佐倉草ぶえの丘
参加者	300名

(ウ) 令和4年度佐倉市民防災訓練

2年ぶりの開催となった市民防災訓練にブース出展し、災害ボランティアセンターのパネル展示と災害ボランティア加入を行った。

開催日時	令和4年10月16日(日) 9時～11時45分
会場	佐倉市立小竹小学校

(ウ) 防災事業

佐倉青年会議所と八街市社協、酒々井町社協と共催で防災をテーマに研修会を行った。地区社協に声掛けし5箇所の地区社協から参加があった。

開催日時	令和4年11月30日(日) 19時～21時30分
会場	佐倉商工会議所
テーマ	「災害に対し、危機感を抱くべきである」「リーダーの必要性」 「平時の防災対策の必要性」
講師	サイボウズ(株) 災害支援チームリーダー 柴田哲史 氏
参加	43名

(エ) 令和4年度第2回千葉県市民活動支援組織ネットワーク会議

千葉県主催の市民活動支援組織の機能強化を目的とした講演会に参加した。

開催日時	令和5年2月13日(日) 9時から12時
会場	オンライン開催

テーマ	「三社連携」の必要性とそれぞれの役割
講師	特非)にいがた災害ボランティアネットワーク 理事長 李仁鉄氏
参加	196名

(オ)佐倉市災害ボランティアセンターネットワーク会議及び研修

災害ボランティアセンターネットワークの連携強化を目的に研修と情報交換会を行った。研修では、被災者に弁護士として生活支援を行っている弁護士を講師に迎え「平時の連携と災害時支援について」をテーマに講義を行った。	
開催日時	令和5年3月23日(木) 13時～15時30分
会場	社会福祉センター2階会議室
テーマ	平時の連携と災害時支援について
講師	弁護士 永野海氏
参加	8名

(6) 就労準備等出かける場づくり事業

実施内容

ひきこもりの方等支援の一環として、令和3年9月1日より外出する居場所作りに取り組み、佐倉市が実施する「佐倉市生活困窮者自立支援事業」における「就労準備、ひきこもりの外出支援」等で活用し、生活困窮世帯の自立に取り組んだ。 洗車、PC作業、切手のカット作業などを行っていただき、自立に向けた活動につなげることができた。
--

(ア)利用状況

利用回数	52件
------	-----

(7) 社会福祉士相談援助実習生受入事業

実施内容

社会福祉士養成にかかる相談援助実習生を受け入れ、福祉人材の育成に取り組むことができた。未来の福祉を担う人材の育成を通じて、本会職員のスキルアップにもつながった。	
受入期間	令和4年9月1日～令和4年10月3日 (25)日間
実習生	淑徳大学生1名 日本福祉大学生1名 計2名
実習テーマ	地域共生社会の実現に向けて、地域住民が主体的に地域課題を把握し、解決を試みる体制の構築に向けて、社会福祉協議会が取り組む事業を実践的に理解する。
指導者	社会福祉士・精神保健福祉士の資格を持つ本会職員 計3名

2 地域福祉ネットワーク

(1) 佐倉市地域福祉活動計画の推進

(ア)市・社協事務局連絡会議

回数	開催日	会場	主な内容
1	4月20日(水)	2階会議室	・両計画の状況について ・ボランティアセンター、地域福祉コーディネーターの活動状況、子ども食堂について
2	5月18日(水)	2階会議室	・両計画の状況について ・ボランティアセンター、地域福祉コーディネーターの活動状況、子ども食堂について
3	6月15日(水)	2階会議室	・両計画の状況について ・ボランティアセンター、地域福祉コーディネーターの活動状況、子ども食堂について
4	7月20日(水)	2階会議室	・両計画の状況について ・地域福祉コーディネーター令和4年度報告書について ・地域福祉フォーラムの実施について
5	9月21日(水)	2階会議室	・両計画の状況について ・地域福祉コーディネーター令和4年度報告書について
6	10月19日(水)	2階会議室	・ボランティアセンター、地域福祉コーディネーターの活動状況、あったか食堂ネットワークについて
7	12月21日(水)	2階会議室	・第7次佐倉市地域福祉活動計画について ・ボランティアセンター、地域福祉コーディネーターの活動状況、あったか食堂ネットワークについて
8	2月15日(水)	2階会議室	・両計画の状況について ・ボランティアセンター、地域福祉コーディネーターの活動状況、あったか食堂ネットワークについて
9	3月15日(水)	2階会議室	・両計画の状況について ・ボランティアセンター、地域福祉コーディネーターの活動状況、あったか食堂ネットワークについて

(イ)ともに歩むふくしプラン推進委員会

回数	開催日	会場	内容
1	7月27日(水)	社会福祉センター地下研修室	・ともに歩むふくしプラン4令和4年度の取り組みについて ・圏域ネットワーク会議の報告について ・地域福祉コーディネーターモデル設置事業の状況について ・令和3年度報告書について
2	1月31日(火)	議会棟 全員協議会室	・第7次佐倉市地域福祉活動計画(次期計画)骨子案について ・地域福祉コーディネーターモデル設置事業の状況について
3	3月23日(木)	社会福祉センター地下研修室	・第7次佐倉市地域福祉活動計画(次期計画)骨子案について ・令和5年度の計画推進スケジュールについて

(ウ)プロジェクト会議(メンバー12名)

回数	開催日	会 場	内 容
1	4月13日(水)	会長室	・プロジェクト会議メンバーについて ・プロジェクト会議の年間スケジュールについて ・令和4年度プラン4推進スケジュールについて ・市社協評価表の作成について
2	5月11日(水)	会長室	・令和4年度市社協評価表について
3	5月24日(火)	会長室	・令和4年度市社協評価表について ・圏域ネットワーク会議について
4	6月8日(水)	会長室	・令和4年度市社協評価表について ・圏域ネットワーク会議について
5	6月22日(水)	会長室	・令和4年度第1回ふくしプラン4推進委員会について
6	7月13日(水)	会長室	・令和4年度第1回ふくしプラン4推進委員会について
7	8月10日(水)	会長室	・圏域ネットワーク会議の進め方について ・次期計画の策定スケジュール等について
8	8月24日(水)	会長室	・次期計画策スケジュールについて
9	9月14日(水)	会長室	・次期計画策定について
10	10月5日(水)	会長室	・次期計画骨子案の策定について
11	10月12日(水)	会長室	・次期計画骨子案の策定について
12	10月26日(水)	会長室	・次期計画骨子案の策定について
13	11月9日(水)	会長室	・次期計画骨子案の策定について
14	11月24日(木)	会長室	・次期計画骨子案の策定について
15	12月14日(水)	会長室	・圏域ネットワーク会議について ・第2回推進委員会について
16	12月28日(水)	会長室	・圏域ネットワーク会議について ・第2回推進委員会について
17	1月11日(水)	会長室	・圏域ネットワーク会議について ・第2回推進委員会について
18	2月8日(水)	会長室	・次期計画骨子案について ・令和4年度市社協評価表について
19	2月22日(水)	会長室	・令和4年度市社協評価表について ・次期計画骨子案の修正について
20	3月8日(水)	会長室	・令和4年度評価表について(市社協、地区社協) ・次期計画骨子案の修正案について ・第3回推進委員会について
21	3月22日(水)	会長室	・第3回推進委員会について

(エ)圏域ネットワーク会議

圏 域	開催日	内 容
佐 倉	7月8日(金)	・各地区社協・出席団体の「災害支援」(課題解決)に向けた取り組みと今後の連携・協働について
	1月11日(水)	・各地区社協・出席団体の「災害支援」(課題解決)に向けた各団体の現状共有と今後の連携・協働について
臼井・千代田	7月1日(金)	・コロナ禍での各団体の活動状況と課題や気になること ・課題解決にむけて
	1月25日(水)	・各地区社協のとりくみについて ・Withコロナで再開した活動の現状共有、新たに動きはじめた活動など
志津北部 志津南部	7月5日(火)	・コロナ禍での各団体の活動状況と活動上の課題について ・課題解決に向けた連携・協働について
	1月17日(火)	・地域福祉コーディネーターモデル事業の活動状況について ・事例検討
南 部	7月6日(水)	・課題解決に向けた連携・協働について ～移動支援(通院)について意見交換～
	1月27日(金)	・移動支援(通院支援について)

(2) 地区社会福祉協議会活動の推進

実施内容

地区社会福祉協議会の活動の推進を図り、住民参加と協働によるコミュニティ活動の促進を行った。地区社協会長会議を行い(当初はzoomと対面のハイブリッドで、次第に対面参集型に移行した)、コロナ禍での地区社協活動について情報交換し、各地区活動へ繋げた。

(ア) 地区社協会長一覧

NO	地区社協名	氏 名
1	佐倉東部	真部 武美
2	佐倉城の辺	川上 三郎
3	内郷	岩井 睦
4	根郷	内藤 寛子
5	弥富	池澤 利一
6	和田	藤崎 言行
7	志津	横山 幹雄
8	臼井	八田 進
9	千代田	大蔵 文子
10	志津南	吉森 文男
11	ユーカーが丘	高崎 照夫
12	西志津	伊藤 泰彦
13	うすい東	森田 実
14	王子台	中台 一義

(イ) 地区社協会長及び事務局長会議の開催

No.	開催日	会場	内 容
1	4月26日(火)	web・参集会議 (参集会場:地下研修室)	第1回地区社協会長会議 <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度市社協事業計画及び事務局体制について ・地区社協活動費について ・令和4年度福祉功績者の推薦について ・地区社協関係書類の提出について ・ともに歩むふくしプラン4の推進について ・今後の地域福祉推進について
2	9月27日(火)	参集会議 会場:地下研修室	第2回地区社協会長会議 <ul style="list-style-type: none"> ・ともに歩むふくしプラン4の進捗状況について ・令和4年度会費納入状況 ・地域福祉コーディネーターの活動状況について ・福祉委員の担い手確保について
3	2月21日(火)	参集会議 会場:西部地域福祉センター会議室	第3回地区社協会長及び事務局長会議 <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度地区代表福祉委員の推薦依頼について ・ともに歩むふくしプラン4推進及び進捗状況について ・アフターコロナ、Withコロナでの活動の振り返り

(ウ) 支えあいサービス実務者の集い(支えあいカフェ)の開催

※ コロナウイルス感染予防・拡大防止のため開催を中止

(エ) 移動支援連絡会の開催

※ コロナウイルス感染予防・拡大防止のため開催を中止

(オ) 地区社協別会議等の開催

No.	地区社協名	福祉委員会	役員会等	住民福祉懇談会		ひとり暮らし高齢者食事サービス		広報発行
				回数	人員	回数	人員	
1	佐倉東部	4回	12回	0回	0人	2回	10人	2回
2	佐倉城の辺	3回	14回	1回	40人	0回	0回	3回
3	内郷	2回	12回	3回	52人	0回	0人	3回
4	根郷	3回	11回	0回	0人	0回	0人	3回
5	弥富	3回	5回	0回	0人	2回	80人	3回
6	和田	3回	8回	0回	0人	4回	45人	3回
7	志津	3回	16回	2回	29人	0回	0人	3回
8	白井	9回	9回	0回	0人	0回	0人	3回
9	千代田	3回	12回	1回	30人	0回	0人	3回
10	志津南	4回	10回	0回	0人	0回	0人	3回
11	ユーカリが丘	4回	22回	2回	63人	1回	30人	3回
12	西志津	4回	17回	0回	0人	1回	46人	3回
13	うすい東	4回	18回	0回	0人	0回	0人	2回
14	王子台	6回	28回	0回	0人	0回	0人	3回

※ コロナウイルス感染予防、拡大防止のため活動を自粛した。
福祉委員会・理事会については、一部書面にて実施した。

(カ) 地区社協のおもな活動 (※コロナ禍により一部実施を見合わせた事業も含む)

1. 高齢者福祉事業	ア. ひとり暮らし高齢者等を対象とした食事サービス、昼食会の実施
	イ. ひとり暮らし高齢者、ねたきり高齢者、障がい者を対象とした友愛訪問
	ウ. グランドゴルフ大会の開催
2. 障がい者・児福祉事業	ア. 社会福祉施設への訪問
	イ. 障がい者・児への援助活動
	ウ. 障がい者・児とその家族との交流

3.児童・青少年福祉事業	ア. 児童・青少年健全育成活動
	イ. 各種スポーツ大会の開催
	ウ. 学習支援
	エ. 子育て支援事業
	オ. 世代間交流事業(昔あそび、ふれあい昼食会など)
	カ. 学校行事支援
	キ. こども食堂
4.地域福祉活動	ア. 地域別住民福祉懇談会、住民座談会、ボランティア懇談会・講座の開催
	イ. 生活改善、環境美化運動の推進
	ウ. 社会福祉協議会会員の募集
	エ. 地域行事への参加、援助、協力
	オ. 社会福祉団体の育成、援助
	カ. 社会福祉に関する調査、研究、PR活動
5.支えあい活動	ア. 支えあい活動の実施
	イ. 支えあいサービスの実施
	ウ. コミュニティ喫茶の実施
	エ. 買い物支援の実施
6.募金活動	ア. 共同募金運動への協力(共同募金事業の項参照)、赤い羽根・歳末たすけあい募金の街頭募金に協力
	イ. 「愛の箱」募金活動
7.研修事業	ア. 研修会、福祉講演会等の開催及び参加
8.広報活動	ア. 地区社協広報紙の発行(自治会・町内会等を通じ配布)
	イ. ホームページの開設(既設地区:佐倉東部、内郷、志津、臼井、千代田、ユーカーが丘、志津南、王子台、うすい東、根郷)
9.その他	ア. 福祉まつり・バザーの実施
	イ. いきいきサロン・100円喫茶の運営

(3) 地域福祉コーディネーターの設置

実施内容

ともに歩むふくしプラン4の重点目標を推進することに加え、これからの地域福祉推進に向けて、令和3年度より志津南部圏域をモデル圏域に定め、地域福祉コーディネーターを1名配置し、地域福祉コーディネーター設置モデル事業を実施した。

(ア) 地域福祉コーディネーターの活動

生きづらさや制度のはざままで課題を抱える方に支援をし、地域の課題を地域で解決できる地域づくりのため「地域支援」「個別支援」「課題の共有と参加支援」を循環させて行うことで共生社会の実現をめざし活動した。令和4年度は「教えてもらう」を重点テーマとして活動した。

1. 地域支援

- ・自治会、関係機関、各種団体等の活動や会議等へ出向き、挨拶、情報収集、相談対応。
- ・西部地域福祉センターを拠点として活動(火・木・金10:00～15:00)。
- ・モデル圏域の地区社協(志津南・西志津)との定期的な連絡会。
- ・生活支援コーディネーターとの定期的な情報交換。
- ・電話やメールでの地域福祉コーディネーターに関する問合せ・相談対応。

2. 個別支援

- ・くらしサポートセンター佐倉や西部地域福祉センターと連携し、個別の支援が必要な対象者と継続的に関わり支援や関係づくりをし、必要に応じて地区社協・自治会・民生委員等への繋ぎを行った。
- ・相談や情報提供を受け、他機関を紹介したり、調査・情報収集・情報交換等の繋ぎを行った。

3. 課題の共有と参加支援

- ・志津南部圏域連携会議開催(コロナ禍のため1回参集)。
- ・ボランティアセンターと連携した、ボランティア活動の参加支援。
- ・地域活動に興味がある方への情報提供や参加団体へのつなぎを行った。
- ・市社協職員での自主勉強会に参加し、個別支援部署との課題の共有を行った。

4. その他

- ・チラシを活用し、活動の周知・PR。
- ・地域福祉フォーラムや各種会議等での活動報告。
- ・地域福祉コーディネーター推進検討会議。

(イ) 地域福祉コーディネーター推進検討会議

地域支援、個別支援、課題の共有と参加支援を円滑に推進するために地域福祉コーディネーター推進検討会議を設置し、活動状況を共有し活動方針の判断やサポートや必要な事務を行った。

回数	開催日	会場	内容
1	4月15日(金)	会長室	1. 令和4年度スケジュールについて 2. 令和3年度報告・まとめについて
2	4月28日(木)	会長室	1. 地域内挨拶について 2. 令和6年度地域福祉コーディネーター全域設置に向けて
3	5月13日(金)	会長室	1. 令和3年度報告書のまとめ方について(9回目)
4	5月27日(金)	会長室	1. 令和3年度報告書のまとめ方について(10回目) 2. 地域福祉Co引継ぎ
5	6月15日(水)	会長室	1. 地域福祉Co5月活動報告 2. 令和3年度報告書のまとめ方について(11回目)
6	8月31日(水)	会長室	1. 令和3年度報告について 2. 志津南部圏域連携推進会議の予算化について
7	9月30日(金)	会長室	1. 令和3年度報告の修正について 2. 地域福祉Co財源確保について
8	10月18日(火)	会長室	1. 令和3年度報告の修正について 2. 地域福祉Co財源確保について
9	11月2日(水)	会長室	1. くらサポートセンター(くらサポ)と 地域福祉Coの連携について
10	11月16日(水)	会長室	1. 生活困窮者自立支援事業が目指す地域づくりについて 2. くらサポと地域福祉Coの連携について(2回目)
11	11月29日(火)	会長室	1. くらサポと地域福祉Coの連携について(3回目)
12	12月14日(水)	会長室	1. くらサポと地域福祉Coの連携について(4回目)
13	12月26日(月)	会長室	1. くらサポと地域福祉Coの連携について(5回目)
14	1月25日(水)	会長室	1. くらサポと地域福祉Coの連携について(6回目)
15	2月15日(水)	会長室	1. 地域ニーズアンケートについて
16	3月1日(水)	会長室	1. 地域ニーズアンケートについて
17	3月15日(水)	会長室	1. 地域ニーズアンケートについて
18	3月29日(水)	会長室	1. 地域ニーズアンケートについて

(4) 団体活動支援・連携

実施内容

福祉団体の活動を支援・推進するため、佐倉市障がい者団体等連絡会、佐倉市社会福祉法人の未来をつくる協議会の運営協力と活動支援をし、各団体並びに行政機関との連携を図った。

(ア) 佐倉市社会福祉施設協議会の運営協力と活動支援(定例会など)

No.	開催日	会場	内容
1	6月30日 (木)	Zoomと参集による会議	第1回定例会・施設長研修 1) 令和3年度事業報告について 2) 令和3年度決算について 3) 令和4年度事業計画について 4) 令和4年度事業予算について 5) 就職フェアについて 6) その他
3	8月17日 (木)	Zoomと参集による会議	市長との懇談会・第2回定例会 1) 職員合同研修企画について 2) 就職フェアについて
4	10月26日 (水)	西部地域福祉センター	職員合同研修会 「外国人採用の試み(各種制度の概要と技能実習・特定技能)」 「外国人スタッフが働く介護現場の様子」 「技能実習生受入時実務の概要」なぜ今ミャンマーが選ばれるのか
5	11月21日 (月)	社会福祉センター 2階会議室	第1回(仮称)就職まつり実行委員会 1) (仮称)就職まつり実施趣旨について 2) 令和4年度実行委員会スケジュールについて
6	1月18日 (木)	社会福祉センター 地下研修室	市長との懇談会・第3回定例会 1) 令和5年度事業計画等協議 2) 佐倉市成年後見支援センター 「市民後見人養成講座」における施設実習について
7	3月8日 (金)	社会福祉センター 地下研修室	第2回(仮称)就職まつり実行委員会 1) 実施予算について 2) 実施時期について 3) 令和4年度実行委員会スケジュールについて
8	3月14日 (火)	中央公民館	第4回定例会 1. 報告 1) 第2回就職まつり実行委員会報告 2. 議題 1) 令和5年度事業計画案について 2) 令和5年度予算案について

(イ)佐倉市障がい者団体等連絡会の運営協力と活動支援(定例会)

No.	開催日時	会場	内容
1	5月25日 (水)	西部地域福祉センター 2階研修室	<ul style="list-style-type: none"> ・佐倉市障害福祉課の施策説明 佐倉市障害福祉施策について ・障害者差別解消法に関する佐倉市の取り組みについて ・令和3年度事業報告、決算報告、監査報告 ・避難所アンケートの活用について ・第4回まちのバリア点検会の実施について(7月実施)
2	7月27日 (水)	西部地域福祉センター 2階研修室	<ul style="list-style-type: none"> ・第5回まちのバリア点検会について(11月実施) ・市長との懇談会について ・地区社協や関係機関との懇談について
3	9月28日 (水)	西部地域福祉センター 研修室	<ul style="list-style-type: none"> ・第5回まちのバリア点検会について ・所属団体紹介冊子の作成について
4	11月30日 (水)	西部地域福祉センター 会議室1. 2	<ul style="list-style-type: none"> ・所属団体紹介冊子の作成について ・みんなで知ろうパラスポーツへのブース参加について
5	1月25日 (木)	西部地域福祉センター 2階研修室	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度事業方針の検討について ・団体紹介冊子の作成について
6	3月29日 (水)	西部地域福祉センター 2階研修室	<ul style="list-style-type: none"> ・規約の一部改正について ・令和5・6年度の役員体制について ・令和4年度決算見込みについて ・令和5年度事業計画案の承認について ・令和5年度予算運の承認について ・佐倉市新規採用職員研修にかかる障団連の関わりについて

a. まちのバリア点検会ワーキンググループ

No.	開催日時	会場	内容
1	4月7日 (木)	社会福祉センター 2階会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・第4回まち点検会(ユウカリが丘地区)の実施について
2	5月19日 (木)	社会福祉センター 2階会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・第4回まち点検会の開催要項(実施日、点検箇所、 広報)について ・京成佐倉駅の案内表示について市担当課と意見交換
3	6月23日 (木)	社会福祉センター 2階会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・第4回まち点検会の開催について(リーダー決め、 悪天候時の対応を協議)
4	7月21日 (木)	社会福祉センター 2階会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・第4回まち点検会の開催について(役割分担、 タイムスケジュール、資機材の手配、 参加者アンケート等を協議)
5	9月8日 (木)	西部地域福祉センター 研修室	<ul style="list-style-type: none"> ・第5回まち点検会の実施について
6	10月7日 (金)	中央公民館など	<ul style="list-style-type: none"> ・点検箇所の下見(JR佐倉駅、中央公民館、いなげや、 ウエルシアなど)

7	11月6日 (日)	西部地域福祉センター 研修室	・第5回まち点検会の実施について 役割分担、タイムスケジュール、グループ分け等の確認
8	11月28日 (月)	西部地域福祉センター 研修室	・第5回まち点検報告書作成に向けた写真選定作業
9	12月6日 (土)	志津コミュニティセン ター	・みんなで知ろうパラスポーツ会場にて、まちのバリア点検会の 展示・啓発活動
10	1月19日 (木)	西部地域福祉センター 研修室	・第5回まち点検報告書の最終校正
11	2月2日 (金)	西部地域福祉センター 研修室	・第5回まち点検報告書の製本作業(200部)

b. 市民がつくる住みよいまちづくり点検

No.	開催日	会場	内 容
1	7月24日 (日)	ユーカリが丘駅構内・ 周辺 新都市交通システム 志津コミュニティセン ター イオンタウンユーカリが 丘	参加者53名が4班に分かれ、車いすを利用し障がい者目線 で、公共施設や公共交通機関、商業施設のバリアを点検し、 ワークショップで発表を行った。 参加者内訳： 当事者5名、障団連会員12名、市職員4名、奨学生6名、佐倉 西校6名、地区社協8名、市社協3名、その他9名
2	11月13日 (日)	JR佐倉駅構内、周辺 中央公民館 いなげや ウエルシア佐倉鎌木店	参加者43名が4班に分かれ、車いすを利用し障がい者目線 で、公共施設や公共交通機関、商業施設のバリアを点検し、 ワークショップで発表を行った。 参加者内訳： 当事者7名、障団連会員9名、千葉盲学校教諭2名、佐倉東 高校6名、佐倉西高校6名、地区社協5名、V連2名、市社協2 名、その他4名

(ウ) 佐倉市社会福祉法人の未来をつくる協議会の運営協力と活動支援

総会

回	日時／会場	内 容
1	11月25日 (金)	書面決議 ・令和2年度事業報告、決算 ・令和3年度4年度事業計画、予算

役員会

回	日時／会場	内 容
1	3月16日 (木)	会長室 ・令和5年度事業事業計画及び予算 ・慶弔金等の支出について

(エ) 印旛・香取地区中途失聴・難聴者のための手話学習会と手話サロン助成

助成額	50,000円
対 象	印旛地区中途失聴・難聴者
会 場	中央公民館他

(オ) 民生委員・児童委員関連業務

新型コロナウイルス感染予防のため、状況に合わせて連携方法を工夫し、佐倉市民生委員・児童委員協議会理事会、及び各地区定例会に参加し、情報交換・連絡調整を行った。

(5) さくらあったか食堂ネットワーク

実施内容

佐倉市内で子ども食堂・地域食堂を実施している団体のネットワークの事務局を担い、加盟団体同士の情報交換や広報活動、各種支援団体との連絡調整などにより側面支援を行った。

(ア) 定期総会

No.	開催日	会場	内容
1	5月24日	佐倉市立中央公民館 大ホール	<p><協議題></p> <ul style="list-style-type: none"> * さくらあったか食堂ネットワーク令和3年度事業報告について * 令和3年度末預金残高の報告について * 監査報告について * さくらあったか食堂ネットワーク規約の改正(案)について * さくらあったか食堂ネットワーク令和4年度役員体制(案)について * さくらあったか食堂ネットワーク令和4年度活動計画(案)・予算(案)について

(イ) 定例会

No.	開催日	会場	内容
1	5月24日	佐倉市立中央公民館 大ホール	<p><報告事項></p> <ul style="list-style-type: none"> * 金銭・物品寄付に関する報告 * 食を軸にした場づくりに向けた経過報告について * 佐倉市子育て支援ガイドブックの校正依頼について * 各団体からの活動概況報告 * さくらあったか食堂ネットワーク研修会について <p><協議事項></p> <ul style="list-style-type: none"> * イオン・チバベジとのスムージープロジェクトについて * 夏海石油様からの自動販売機売上金の支援と活用について * 佐倉市ボランティアセンターへの登録の協力について
2	6月16日	佐倉市立中央公民館 学習室3	<p><報告事項></p> <ul style="list-style-type: none"> * 金銭・物品寄付に関する報告 * あったかパントリー(食を軸にした場づくり)の進捗状況について * 各団体からの活動概況報告 <p><協議事項></p> <ul style="list-style-type: none"> * あったかマルシェの進捗状況について * 子ども食堂・地域食堂立ち上げ予定団体の状況と支援について * さくらあったか食堂ネットワーク研修会の振返りについて * さくらあったか食堂ネットワーク令和4年度年会費について * 各団体の月次提供数/世帯数の集計協力について
3	7月21日	佐倉市立中央公民館 学習室3	<p><報告事項></p> <ul style="list-style-type: none"> * 金銭・物品寄付に関する報告 * あったかパントリー(食を軸にした場づくり)進捗状況について * 各団体からの活動概況報告 <p><協議事項></p> <ul style="list-style-type: none"> * ジイ・シイ企画様からの「地域通貨」の試みについて * さくらあったか食堂ネットワーク主催イベント「あそびの広場」の「活動進捗状況」と「準備」について * あったかパントリー(食を軸にした場づくり)の試行に向けた調整について

4	8月25日 (木)	佐倉市立中央公民館 学習室3	<p><報告事項> * 金銭・物品寄付に関する報告 * あったかパントリー(食を軸にした場づくり)進捗状況について * 佐倉市広報課からの取材依頼について</p> <p><協議事項> * 「さくらあったか食堂あそびのひろば2022夏」について * あったかパントリー試行に向けた「食材の在庫管理」について * ジイ・シイ企画様からの「地域通貨」の試みに 対する今後の連携について</p>
5	9月15日	佐倉市立中央公民館 学習室3	<p><報告事項> * 金銭・物品寄付に関する報告 * あったかパントリー(食を軸にした場づくり)進捗状況について * 佐倉市広報課からの取材協力依頼と放映について</p> <p><協議事項> * 「さくらあったか食堂あそびのひろば2022夏」報告・反省について * ジイ・シイ企画の「地域通貨」の試みに関する説明会について * あったかパントリーの試行について * ライオンズクラブ様からのケーキ支援のご相談について * あったか食堂ネットワーク啓発資材発注について</p>
6	10月20日	佐倉市立根郷公民館 ホール	<p><報告事項> * 金銭・物品寄付に関する報告 * あったかパントリー(食を軸にした場づくり)の進捗状況について * さくらあったか食堂あそびのひろば2022夏」の会計報告について</p> <p><協議事項> * ジイ・シイ企画の「地域通貨」の試みに関する説明会を受けた今後の 推進について * あったかパントリーについて * ライオンズクラブからのケーキ支援について * 佐倉ロータリークラブからの支援について * ㈱タカヨシ(わくわく広場)からの支援について * あったか食堂便覧・あったか食堂MAP等改訂版作成について * 夏海石油様からの自動販売機売上金の活用方策の検討について * 印旛地区管内のこども食堂・地域食堂との懇談会について</p>
7	11月17日	西部地域福祉センター 会議室1・2	<p><報告事項> * 金銭・物品寄付に関する報告 * 各団体からの活動概況報告</p> <p><協議事項> * ジイ・シイ企画の「地域通貨」の試みへの参加調整について * 佐倉ロータリークラブからの支援について * わくわく広場様からの支援について * 夏海石油様からの自動販売機売上金の活用方策の検討について * 印旛地区管内のこども食堂・地域食堂との懇談会について * あったかパントリーについて * ライオンズクラブからのケーキ支援について * あったか食堂便覧・あったか食堂MAP・のぼり旗作成について * あったか食堂ネットワーク活動団体一覧表の更新確認について</p>

8	12月15日	佐倉市立中央公民館 学習室3	<p><報告事項></p> <ul style="list-style-type: none"> * 金銭・物品寄付に関する報告 * 各団体からの活動概況報告 * 市民協働事業採択団体と各課の交流会報告 <p><協議事項></p> <ul style="list-style-type: none"> * 夏海石油からの自動販売機売上金の活用について * ライオンズクラブからのケーキ支援に対する活動報告と意見交換について * ジイ・シイ企画の「地域通貨」の試みの推進について * わくわく広場様からの支援について * 佐倉ロータリークラブからの支援について * あったか食堂便覧・あったか食堂MAP・のぼり旗の作成について * あったかパントリーについて
9	1月19日	佐倉市立中央公民館 学習室3	<p><報告事項></p> <ul style="list-style-type: none"> * 金銭・物品寄付に関する報告 * 子育てフォーラム(子育て応援団主催)報告 * 各団体からの活動概況報告 <p><協議事項></p> <ul style="list-style-type: none"> * 子ども食堂活動継続支援金の活用方法について * あったか食堂便覧・あったか食堂MAPの作成・配布先について * ふるさと納税返礼品の支援について * わくわく広場からの支援について * さくらあったか食堂ネットワーク研修会について * あったかパントリー関係について * ジイ・シイ企画の「地域通貨」の試みの推進について
10	2月16日	西部地域福祉センター 会議室1・2	<p><報告事項></p> <ul style="list-style-type: none"> * 金銭・物品寄付に関する報告 * 令和4年度千葉県子ども食堂ネットワーク会議報告について * 各団体からの活動概況報告 <p><協議事項></p> <ul style="list-style-type: none"> * さくらあったか食堂ネットワーク研修会・懇談会のふりかえりについて * ジイ・シイ企画の「地域通貨」の試行に向けた推進について * NPOこどもステーション主催「こどもまつり」のブース参加について * 令和5年度のあったか食堂ネットワークで取り組むことの意見交換について * NPO法人全国子ども食堂支援センターむすびえより * ふるさと納税返礼品の支援について * 「SAKURAスイーツプロジェクト」からの高校生からの収益支援について * ピザーラユーカリが丘店からのピザ支援の希望確認について
11	3月16日	佐倉市立中央公民館 学習室3	<p><報告事項></p> <ul style="list-style-type: none"> * 金銭・物品寄付に関する報告 * 各団体からの活動概況報告 <p><協議事項></p> <ul style="list-style-type: none"> * ジイ・シイ企画と岩瀬薬品(株)との「地域通貨」推進について * 令和5年度あったか食堂ネットワークで取り組むことの意見交換について * 佐倉こそだちフェスへの参加について * SAKURAスイーツプロジェクト寄附贈呈式出席調整について * ふるさと納税返礼品の支援について * ピザーラからのピザの支援について * 令和5年度上半期のお弁当容器希望数量の取りまとめについて * オリエンタルランドからの防災備蓄米支援の取りまとめについて * 子ども食堂・地域食堂各団体のスタッフの方とのインタビューについて

(ウ) 役員会

No.	開催日	会場	内容
1	4月12日	市社協会議室・Zoom	<p><報告事項> * 金銭・物品寄付に関する報告について</p> <p><協議事項> * 食を軸にした場づくりに向けた本ネットワークの役割について * 印旛エリア(7市2町)の子ども食堂・地域食堂との懇談会開催相談について * 「草ぶえの丘」冷蔵庫の一時保管場所活用提案について * ライオンズクラブの相談事項について * さくらあつたか食堂ネットワークの総会開催に向けた内容検討について * あつたか食堂ネットワーク研修会の開催について * あつたか食堂ネットワーク定例会の開催について * イオン・チバベジとのスムージープロジェクトについて * 公式LINE、あつたか食堂g-mailの情報共有について</p>
2	4月21日	市社協会議室・Zoom	<p><報告事項> * さくらあつたか食堂ネットワーク総会・定例会について * さくらあつたか食堂ネットワーク研修会について * 食を軸にした場づくり(食材・食品等の寄付品のしくみづくり)検討会の報告について</p> <p><懇談会> * ライオンズクラブ様からの支援相談について</p>
3	5月19日	ワークショップかぶらぎ	<p><協議事項> * さくらあつたか食堂ネットワーク総会・定例会の内容確認について * さくらあつたか食堂ネットワーク研修会について * 「草ぶえの丘」冷蔵庫の一時保管場所としての活用について * イオン、チバベジとのスムージープロジェクト進捗状況について * 役員会・定例会の開催予定の変更について</p>
4	6月9日	社会福祉センター 2階会議室	<p><協議事項> * 大和証券うすい支店様からの金銭寄附にかかる懇談・写真撮影について * さくらあつたか食堂ネットワークへの寄附について * さくらあつたか食堂ネットワーク研修会の振返りについて * あつたかパントリー推進状況について * あつたかマルシェ(イオンスムージープロジェクト)進捗状況について * 子ども食堂・地域食堂立ち上げ予定団体と支援について * さくらあつたか食堂ネットワークのホームページへの寄附金等の募集情報掲載の検討について * こども政策課からのご相談について</p>
5	7月14日	社会福祉センター 2階会議室	<p><協議事項> * 定例会の進め方の確認について * あつたか食堂ネットワーク加盟団体への助成の検討について * 佐倉市からの調査事項の協力について</p>

6	8月18日	社会福祉センター 2階会議室	<p><懇談> *LIFE DERI 佐倉店からの子ども食堂への協力について</p> <p><協議事項> *あったかパントリー試行に向けた食材の在庫管理について *あったか食堂あそびのひろば2022夏について *ジイ・シイ企画の「地域通貨」の試みに対する今後の連携について *定例会の進め方の確認について</p>
7	9月8日	西部地域福祉センター 会議室1・2	<p><反省会> *「あったか食堂あそびのひろば2022夏」について</p> <p><協議事項> *ジイ・シイ企画の「地域通貨」の試みに関する説明会について *あったかパントリーについて *食品寄附関係について</p>
8	10月11日	佐倉市立中央公民館 学習室2	<p><協議事項> *ジイ・シイ企画の「地域通貨」の試みに関する説明会を受けた今後の推進について *あったかパントリーについて *コストコからの消費期限間近品のネットワークでの包括受入れについて *ライオンズクラブからのケーキ支援について *あったか食堂便覧・あったか食堂MAPの等の改訂版作成について *あったか食堂ネットワーク新規加盟団体への助成金・賛助金受領について *夏海石油様からの自動販売機売上金の活用方策の検討について *印旛地区管内のこども食堂・地域食堂との懇談会について</p>
9	11月10日	社会福祉センター ボランティア連絡協議 会室	<p><協議事項> *ジイ・シイ企画の「地域通貨」の試みへの参加 調整について *佐倉ロータリークラブからの支援について *わくわく広場様からの支援について *夏海石油様からの自動販売機売上金の活用方策の検討について *印旛地区管内のこども食堂・地域食堂との懇談会について *あったか食堂便覧・あったか食堂MAPの等の改訂版作成とのぼり旗の作成について *あったか食堂ネットワーク新規加盟団体への助成金・賛助金受領について *あったかパントリーについて *ライオンズクラブからのケーキ支援について</p>

10	12月8日	社会福祉センター 2階会議室	<p><協議事項></p> <ul style="list-style-type: none"> * 夏海石油様からの自動販売機売上金の活用について * ライオンズクラブからのケーキ支援に対する活動報告と意見交換について * ジイ・シイ企画の「地域通貨」の試みの推進について * わくわく広場様からの支援について * 佐倉ロータリークラブからの支援について * あったか食堂便覧・あったか食堂MAP・のぼり旗作成について * あったかバントリーについて
11	1月12日	社会福祉センター 2階会議室	<p><協議事項></p> <ul style="list-style-type: none"> * 子ども食堂活動継続支援金の活用方法について * あったか食堂便覧・MAP・のぼり旗の作成について * ジイ・シイ企画との「地域通貨」の試行に向けた推進について * ふるさと納税返礼品の支援について * あったかバントリー関係について * 各種研修会の参加申し込みについて * わくわく広場からの支援について * さくらあったか食堂ネットワーク研修会について
12	2月9日	社会福祉センター 2階会議室	<p><協議事項></p> <ul style="list-style-type: none"> * NPO法人全国子ども食堂支援センターむすびえより * さくらあったか食堂ネットワーク研修会・懇談会のふりかえりについて * ジイ・シイ企画の「地域通貨」の試行に向けた推進について * 本ネットワーク加盟団体への立ち上げ支援助成金・各団体年会費徴収の件 * ジイ・シイ企画との「地域通貨」の試行の推進について * 令和4年度あったか食堂ネットワークの活動報告・決算報告の取りまとめと令和5年度ネットワーク事業方針検討について * 子ども食堂活動継続支援金の活用方法について * ふるさと納税返礼品の支援について * SAKURAスイーツプロジェクトからの収益支援について * NPO子どもステーション主催子どもまつりブース参加について * 令和4年度千葉県子ども食堂ネットワーク会議報告について
13	3月9日	社会福祉センター 2階会議室	<p><協議事項></p> <ul style="list-style-type: none"> * 令和4年度あったか食堂ネットワークの活動報告・決算報告の取りまとめと令和5年度のネットワーク事業方針検討について * 令和5年度さくらあったか食堂ネットワーク役員体制について * NPO法人全国子ども食堂支援センターむすびえからの視察見学について * SAKURAスイーツプロジェクト寄附贈呈式の出席調整について * ジイ・シイ企画「地域通貨」試行に向けた推進について * NPO子どもステーション主催子どもまつりブース参加について * LIFE DELIからの子ども食堂活動との連携方法の検討について * 子ども食堂・地域食堂各団体のスタッフとのインタビューについて

(エ) 研修会

No.	開催日	会場	内容
1	6月5日	志津コミュニティセンター大ホール	<p>(1) 子ども食堂活動における「衛生管理」について 講師:株式会社千葉衛生科学検査センター グループリーダー 新保 昌康 氏</p> <p>(2) 子ども食堂活動における「保険制度」、 「千葉県内の子ども食堂活動」について 講師:千葉県子ども食堂連絡会代表 こがねはら子ども食堂 代表 高橋 亮 氏 参加者62名(講師・事務局4名含む)</p>
2	2月5日	佐倉市立中央公民館大ホール	<p>(1) 研修会<講演> 災害時に子ども食堂ができること</p> <p>(2) 研修会<懇談> 自己紹介、グループワーク 講師:災害ボランティア活動支援プロジェクト会議 社会福祉法人 中央共同募金会 事務局長 阿部 陽一郎 氏 参加者63名 (講師・事務局3名含む)</p>

(オ) ネットワーク主催イベント関係

No.	開催日	会場	内容
1	8月27日	イオンタウン ユーカリが丘店 西街区1階さくらの広場	<p><さくらあったか食堂あそびのひろば2022夏> *シェアアトリエふわいえ、チバベジさんと共催開催しました。 *当日出店ブース プラバン、わなげ、バルーンアート、水ヨーヨー、 じゃばらダンボールのまち、おさかなつり、ポッチャ スライムづくり、ボックスくじ、おえかきコーナー、おえかき だがし屋さん</p> <p>*当日来場者:整理券配布者500名、フリータイム50名 イベント来場者のべ1,000名程度</p>

(カ) 子ども食堂(地域食堂)活動に関する講演など

No.	開催日	会場	内容
1	11月6日	志津コミュニティセンターホール	ユーカリが丘地区社協福祉委員研修会 研修テーマ:～佐倉市内の子ども食堂活動について <講義> ～ごはんをつなげる仲間たちさくらあったか食堂ネットワーク～ 事務局 高橋将紀
2	12月13日	佐倉市社会福祉センター3階中会議室	市民協働事業採択団体と各課の交流会 ～佐倉市内の子ども食堂活動について～ <出席者> ～ごはんをつなげる仲間たちさくらあったか食堂ネットワーク～ 代表 小林真智子、副代表 松木悦子、事務局 高橋将紀
3	1月25日	千葉県教育会館 新館 大ホール	実践報告者として、寺崎食堂 鯉淵 百合子代表がパネルディスカッションに登壇。

(キ) 子ども食堂(地域食堂)活動に関する視察対応

2	3月17日	志津コミュニティセンター 夕焼けごはん(活動拠点)	NPO法人むすびえなど 地域食堂ひだまりのたねと、夕焼けごはんの2つの食堂を視察・懇談への協力をしました。 *視察者:7名、事務局・地域福祉コーディネーター2名
---	-------	------------------------------	--

3 ボランティアセンター

実施内容

ボランティアの依頼や活動紹介のコーディネート、登録ボランティアへの活動支援、登録や保険に関する受付を行った。また、地域福祉センター、その他関係機関との連携、福祉教育やボランティア講座、広報等の情報発信により、新たな担い手の発掘、育成、ボランティア活動の普及推進の取り組みに務めた。

(1) ボランティア活動の普及・推進

(ア) ボランティアのコーディネート

ボランティアコーディネーターの配置

常勤体制でボランティアコーディネーターを配置し、コーディネート機能の充実を図った。また、各種研修会に積極的に参加することで、ボランティアコーディネーターのスキルアップや、関係機関とのネットワーク強化など、センター機能の強化をはかり、地域のボランティア活動の拠点としての機能の充実と活性化に取り組んだ。

相談に対するコーディネート

種別	佐倉市VC	西部VC	南部VC	合計
支援希望相談	71件	6件	4件	81件
活動希望相談	113件	34件	12件	159件
情報提供	44件	36件	4件	84件

(イ) ボランティア情報提供

- ・ボランティア募集、助成金情報、各種研修会等情報提供(随時)
- ・ホームページでのボランティア団体情報提供(随時更新)
- ・ボランティア受入先紹介を作成し、社会福祉協議会のホームページに掲載
- ・ボランティア体験情報の継続提供

通年でボランティア体験が可能な団体・機関の情報を提供を行うことで、より身近な場所での地域活動に参加できる体制づくりに努めた。

(ウ) ボランティアの登録と斡旋

	グループ数 (通年)	グループ登録人数 (通年)
ボランティアグループ 登録団体数・人数	100団体	2,647名

	個人ボランティア (通年)
個人ボランティア 登録人数	188名

(エ)グループ活動費助成の交付

①ボランティアグループの活動の育成を図ることを目的に、助成金の募集を行い、選考委員会による審査のうえ助成金の交付を行った。

助成金交付決定団体:46団体	助成金交付決定額①	1,072,700円
助成金交付団体 決定内訳	1. 新設団体助成	0団体 0円
	2. 備品購入助成	0団体 0円
	3. 活動助成	46団体 1,072,700円
助成金返還団体:1団体	助成金返還金額②	25,000円
	助成金確定額①－②	1,047,700円

活動助成(令和4年度)

No.	グループ名	助成金交付額	返還額	助成金確定額
1	点訳サークル野菊の会	5,000円	0円	5,000円
2	佐倉市こおろぎの会	25,000円	0円	25,000円
3	まあるい会	25,000円	0円	25,000円
4	手話サークル「希望」	25,000円	0円	25,000円
5	手話サークルコアラの会	25,000円	0円	25,000円
6	要約筆記サークル『あうん』	25,000円	0円	25,000円
7	佐倉地域文庫連絡会	25,000円	0円	25,000円
8	佐っちゃん・倉くん応援隊25	22,000円	0円	22,000円
9	ボランティアグループありんこ	25,000円	0円	25,000円
10	ガールスカウト千葉県第84団	25,000円	0円	25,000円
11	ねっこの会	25,000円	0円	25,000円
12	NPO法人 さくらの咲く丘	25,000円	0円	25,000円
13	NPO法人 子どものまち	25,000円	0円	25,000円
14	むぎの会	25,000円	0円	25,000円
15	ユーカリ和の会	25,000円	0円	25,000円
16	ふきのとう	25,000円	0円	25,000円
17	虹の会	25,000円	0円	25,000円
18	すおうの輪	15,000円	0円	15,000円
19	キャロット白銀	25,000円	0円	25,000円
20	さくらネイチャーゲームの会	25,000円	0円	25,000円
21	佐倉印旛沼ネットワークの会	25,000円	0円	25,000円
22	特定非営利活動法人印旛沼広域環境研究会	25,000円	0円	25,000円
23	カレッジ園芸	25,000円	0円	25,000円
24	ユートピア時崎弁天	20,000円	0円	20,000円
25	花の散歩道	25,000円	0円	25,000円
26	西志津四季の会	25,000円	0円	25,000円
27	296アイアイ会	25,000円	0円	25,000円
28	楡の会	25,000円	0円	25,000円

29	ふれあいいきいきサロン白銀	25,000円	0円	25,000円
30	かぐや姫(結の会)	25,000円	0円	25,000円
31	歌声の広場	13,000円	0円	13,000円
32	花工房リーベ	25,000円	0円	25,000円
33	あすなろ22	25,000円	25,000円	0円
34	ひの木太鼓	20,800円	0円	20,800円
35	草笛&リーフル「ハッピー〇はっば」	25,000円	0円	25,000円
36	チーム麦畑	25,000円	0円	25,000円
37	さくら輪の会	25,000円	0円	25,000円
38	届けよう笑顔を！「ニコニコ合衆国」23	25,000円	0円	25,000円
39	ハーモニイの会	13,000円	0円	13,000円
40	アロハ・プア・ナニ	20,000円	0円	20,000円
41	朗読サロン「こおろぎの輪」	25,000円	0円	25,000円
42	NOUT(ノーツ)	25,000円	0円	25,000円
43	影絵塾9	25,000円	0円	25,000円
44	高齢者いきいきクラブ「コケッコ村」	25,000円	0円	25,000円
45	元気シルバー応援隊	18,900円	0円	18,900円
46	佐倉路地裏探検隊	25,000円	0円	25,000円
合 計		1,072,700円	25,000円	1,047,700円

(オ)会議の開催

a. ボランティアセンター運営委員会の開催

第1回	日 時	令和4年6月30日(木)午前10時～正午
	会 場	佐倉市社会福祉センター2階会議室
	報告事項	①前回会議要録について ②ボランティアセンター運営委員の役割について ③令和3年度ボランティアセンター関連事業報告について ④令和4年度ボランティアセンター事業計画と行事・イベントについて ⑤令和4年度登録状況について ⑥ボランティアセンターの相談状況について
	協議事項	①委員長・副委員長の選出について ②社会福祉法人佐倉市社会福祉協議会ボランティア活動助成対象選考委員会委員の推薦について ③「Withコロナ」の視点に立ったボランティア活動の推進に向けて
	出席者数	運営委員10名(欠席0名)
傍聴者数	1名 ※市民公益活動サポートセンター推薦枠の候補予定者	
	日 時	10月27日(木)午前10時～正午
	会 場	佐倉市社会福祉センター2階会議室
		①前回会議要録について ②令和4年度ボランティア活動助成金の助成団体について ③福祉教育の活動について

第2回	報告事項	④イベント・行事について ⑤ボランティア団体への活動取材について ⑥歳末たすけあい募金(街頭募金)活動へのボランティアへの協力依頼について ⑦ボランティアセンターの相談状況について
	協議事項	①ポストコロナのボランティア活動の推進について *テーマ:～ボランティア活動の「担い手確保」に向けて～
	出席者数	運営委員11名(欠席0名)
	傍聴者数	0名
第3回	日時	3月10日(金)午前10時～正午
	会場	佐倉市社会福祉センター地下研修室
	報告事項	①第2回会議要録について ②イベント・行事について ③令和4年度ボランティア活動助成金の返還について ④ボランティア団体への活動取材について ⑤ボランティアセンターの相談状況について ⑥令和4年度ボランティアセンター事業報告(中間)について
	協議事項	①今後のボランティア活動の推進について ～Withコロナの視点によるボランティア活動に向けて～
	出席者数	運営委員9名(欠席2名)
	傍聴者数	0名

b. ボランティア活動助成対象選考委員会の開催

第1回	日時	7月28日(木) 午後1時30分～3時
	会場	佐倉市社会福祉センター2階会議室
	内容	1)申請団体の申請(ボランティア活動助成の選考)について
	出席者数	委員5名(欠席2名)
	傍聴者数	0名

c. ボランティア会議

日時	令和5年3月2日(木)午後2時～3時30分[団体向け]
会場	西部地域福祉センター会議室1・2・3
内容	①登録更新の手続きについて 1)令和4年度活動報告書・決算書について 2)令和5年度登録更新について 3)ボランティア活動保険について 4)令和5年度ボランティア活動助成金について ②佐倉市ボランティア連絡協議会より ③情報交換会(フリートーク) ④ボランティアセンターからの連絡事項

日 時	令和5年3月17日(金)午前10時～11時30分[個人ボランティア向け]
会 場	佐倉市社会福祉センター地下研修室
内 容	①登録更新の手続きについて 1) 令和4年度活動報告書・決算書について 2) 令和5年度登録更新について 3) ボランティア活動保険について ②佐倉市ボランティア連絡協議会より ③情報交換会(フリートーク) ④ボランティアセンターからの連絡事項

d. ボランティア向け研修

① やさしいZoomの使い方研修会

日 時	7月26日(火)【リモート研修】 [Zoom初任者向け] ①午前10時～11時30分 ②午後1時30分～3時
会 場	佐倉市社会福祉センター2階会議室
内 容	①Zoomの基本的操作方法について *講師:NPO法人千葉県介護支援専門員協議会 事務局長 船津 良 氏 *参加者:7名(①午前の部:3名、②午後の部:4名)

② やさしいZoomの使い方研修会

日 時	3月23日(木)午後2時～3時30分 [Zoomホスト運営者向け]
会 場	佐倉市社会福祉センター地下研修室
内 容	*講師:NPO法人千葉県介護支援専門員協議会 事務局長 船津 良 氏 *参加者:3名

e. ボランティア活動に関する講師派遣

① コミュニティカレッジさくら

日 時	11月25日(金)午前10時～正午
会 場	佐倉市立臼井公民館2階 集会室
参加者	受講生5名
内 容	①佐倉市社会福祉協議会 ボランティアセンターの紹介 ②ボランティア活動の4つの原則 ③ボランティア活動の心がまえ ④ボランティア活動実践者(ゲストスピーカー)からの講話 ＜ゲストスピーカー＞ ・ボランティアグループでの活動実践から 佐倉市こおろぎの会 代表 園原 悦子 氏 ・個人ボランティアや他での活動実践から 個人ボランティア、移動サービスコーディネーター 本間 達 氏 ⑤佐倉市内のボランティア活動の現状 ⑥これからボランティア活動をするために

② 心のふれあいボランティア「ひびき」・令和4年度第2回例会 講話

日時	10月20日(木)午後1時～2時
会場	西部地域福祉センター会議室1・2・3
内容	①ボランティアセンター登録グループ・個人ボランティアの推移 ②「新型コロナウイルス」感染拡大によるボランティア活動の変化 ③「withコロナ」の視点によるボランティア活動に向けて

③ 市民公益活動サポートセンター主催事業

日時	2月8日(水)午後2時～3時30分
会場	佐倉市立臼井公民館2階 集会室
参加者	受講生10名
内容	テーマ:ボランティアの基礎知識と佐倉市内の活動例 ①佐倉市社会福祉協議会 ボランティアセンターの紹介 ②ボランティア活動の4つの原則 ③ボランティア活動の心がまえ ④佐倉市内のボランティアの紹介 ⑤ボランティア活動をこれからするために

(カ) ボランティア慰労ボウリング大会

令和4年6月25日(土) 13:30～16:00 Vegaユーカリボウル

参加24団体 ・ 個人7名	総勢68名
---------------	-------

(2) 佐倉市ボランティア連絡協議会の活動支援

活動費助成	250,000円 (令和4年度活動費助成決定額)
活動内容等	①役員会の開催 ②運営委員会の開催 ③広報紙(V連協だより・はらっぱ)の発行 ④ボランティアのつどいの開催 ⑤Zoomを活用した加盟団体同士の交流機会 ⑥ボランティアセンター活動 ⑦社会福祉協議会活動への協力(各種委員会委員) ⑧街頭募金活動への協力 など
支援内容等	①役員会への出席・活動支援 ②運営委員会への出席・活動支援 ③広報紙発行に向けた側面支援・連絡調整 ④ボランティアのつどいの開催に向けた側面支援 ⑤ボランティア会議での活動紹介の機会づくり ⑥活動上の相談・支援、施設利用手続き、連絡調整 など

(3) 福祉教育推進事業

(ア)福祉学習に関する企画・実践への支援

No.	依頼者・実施場所	実施日	支援内容
1	ガールスカウト 千葉県第84団 参加者8名 臼井公民館	7月3日	①「車いすの基本操作」と「福祉車両」の体験 ボランティア協力1名
2	間野台小学校 (3年生70名)	①10月14日	①点字の理解と体験 ボランティア協力5名(点訳サークル野菊の会の会員)
3		②10月18日	①聞こえないことへの理解(聴覚障がい者からの講話) ②手話体験(手話サークル「希望」の協力) ボランティア協力7名 (聴覚障がい者2名、手話サークル「希望」5名)
4		③10月25日	①点字の理解と体験 ボランティア協力5名(点訳サークル野菊の会の会員)
5	臼井西中学校 (1年生90名)	11月1日	①見えにくい方への理解 ②耳が聞こえにくい方への理解 ③移動困難な方への理解 ④学校のバリア点検 ⑤認知症の方への理解 ※臼井・千代田地域包括担当 障害当事者3名、ボランティア協力者9名
6	西志津小学校 (5年生130名)	2月28日	①オリオンハウス利用者と職員の講話 ②車いすの基本的操作と演習(体育館内) ③移動サービス車両の説明と福祉車両体験(体育館脇) ボランティア協力9名(西志津地区社協3名、ボランティア6名)

(イ)福祉学習事例集の作成と配布

実施内容

これまで実施してきた福祉教育実践プログラムを事例集として取りまとめたものを作成し、市内の小・中学校には配布した。
事例集の配布後に西志津小学校福祉教育に関する相談を受けた。

4 企画広報

(1) 広報啓発事業

実施内容

社会福祉への理解と参加を促進するため、広報活動を展開し「わかりやすい広報づくり」を念頭に「社協さくら」を年3回発行した。また、Facebookも活用して社会福祉協議会活動の動向を積極的に発信し、関心と理解、協力を得られるように努めた。
年々減少しているホームページのアクセス数は、今後ブランド構築の取り組みと併せてアクセス数増加に取り組む。

(ア) 社協さくらの発行

No.	号数	発行年月日	発行部数	折込部数
1	第203号	令和4年7月1日	46,750部	45,750部
2	第204号	令和4年10月1日	46,750部	45,750部
3	第205号	令和5年3月1日	46,750部	45,750部

(イ) ホームページ

アドレス <http://www.sakurashakyo.or.jp>

年度	アクセス数	月平均アクセス数
4	9,931件	828件
3	10,768件	897件
2	11,900件	992件

(ウ) その他の広報活動

No.	内 容
1	Facebookへの投稿(フォロワー数864名)
2	千葉県社協広報紙「福祉ちば」を関係者に配布

5 善意銀行

実施内容

広く市民の善意を金銭及び物品として受け、これを効果的に還元した。小口貸付資金は、生活保護世帯または、それに準ずる世帯の一時的な困窮を切り抜けるための費用として無利子で貸付を行うものである。償還が遅れがちな借受世帯については、民生委員などと協力して、状況把握や償還指導を行った。

新型コロナウイルスにより食料を必要とする世帯が急増し、「フードバンクちば」や関係機関とも連携して支援に取り組む他、Facebookにより広く協力を呼びかけ例年以上の寄附を集め生活困窮者支援を行った。

(1) 金銭、物品の預託、払い出し

(ア) 金銭口座

預託

種別	令和4年度		令和3年度		令和2年度	
	件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)
一般預託	14	551,930	11	194,240	30	21,110,000
指定預託	7	788,599	7	585,000	9	408,640
合計	21	1,340,529	18	779,240	39	21,518,640

払出

払出	令和4年度		令和3年度		令和2年度	
	件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)
災害見舞	7	140,000	3	50,000	8	100,000
帰宅旅費	9	4,190	6	2,880	15	6,890
指定払出	12	788,599	5	400,000	9	408,640
合計	28	932,789	14	452,880	32	515,530

(イ) 物品口座

物品名	預託件数(件)			払出件数(件)		
	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
食品	349	397	249	509	553	522
その他	85	86	106	62	45	78
合計	434	483	355	571	598	600

(2) 小口貸付事業

貸付件数

世帯種別	令和4年度		令和3年度		令和2年度	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額
生活保護世帯	60	2,200,000	65	2,673,000	88	2,515,000
生活保護申請世帯	0	0	1	40,000	0	0
一般世帯	46	1,892,000	38	1,575,000	72	3,930,000
合計	106	4,092,000	104	4,288,000	160	6,445,000

償還額

償還額(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度
		3,293,400	4,288,000

(3) フードドライブへの協力

実施期間	件数	総重量
第30回(令和4年5月16日～6月30日)	52件	225kg
第31回(令和4年9月19日～10月31日)	63件	960kg
第32回(令和5年1月16日～2月28日)	39件	200kg

6 在宅福祉事業

実施内容

家に閉じこもりがちな高齢者が、地域においてボランティア等と共にふれあいの機会を持つことにより、いきいきとした生活ができるよう支援を行った。

(1) ふれあい・いきいきサロン

No	グループ名	実施回数	延利用者数
1	ふれあいいきいきサロン白銀	17回	66人

※ 令和4年5月から少しずつサロン活動を再開したが、利用者数が激減したため、利用者募集のチラシを作成し自治会回覧で周知した。

(2) ふれあい型食事サービス

No	グループ名	実施日	対象者数
1	ふきのとう	毎月第1金曜日	495人
2	むぎの会	毎月第2火曜日	521人
3	虹の会	毎月第2金曜日	241人
4	すおうの輪	毎月第3火曜日	103人
5	ユーカー和の会	毎月第4火曜日	232人
6	キャロット白銀	毎月第2木曜日	61人
合 計			1,653人

食事サービスグループ懇談会

日 時	コロナ禍の影響で参集形式の懇談会は中止
内 容	コロナ禍で懇談会は中止となったが、各食事サービスグループの活動の様子をセンタースタッフが取材したものを取りまとめている。

(3) おもちゃ図書館

実施内容

おもちゃを通じた障がい児と健常児のふれあいの場及び子育て支援の場、そして、障がいをもった子どもたちがおもちゃで遊びながら、楽しみながら体の機能や感覚、ことばを養い、成長を促すことを目的としておもちゃ図書館を開館し、おもちゃの貸し出しを行った。コロナ禍ではあったが、感染に注意しながらの運営に努め、利用者数は前年度から大幅に増加した。

開館状況

開館場所	西部地域福祉センター		南部地域福祉センター		合 計
	第2水曜	第3土曜	第2土曜	第4水曜	
開館回数	10回	12回	0回	12回	34回
利用者数	30人	158人	0人	273人	461人
うち障がい児数	0人	6人	0人	88人	94人
貸出点数	12点	99点	0点	32点	143点
ボランティア数	34人	39人	0人	42人	115人
修理ボランティア数	8人	3人	0人	0人	11人

会議・研修の参加 10回・27人(全体ミーティング、クリスマス会打ち合わせ、県連絡会、全国連絡会)
年間を通して自宅で布カバン制作ボランティア 1名

(4) 車イス貸出事業

実施内容

市内在住の高齢者・傷病者などの外出や日常生活を支援するために車椅子を無料にて貸出した。小・中学校での福祉教育などの教材としても貸出を行った。貸出窓口については、西部地域福祉センター(8台保有)、南部地域福祉センター(7台保有)及び市内20カ所の郵便局(各1台保有)にて行い、市民の利便性の向上に努めた。令和4年度は前年度に比べ利用台数は大幅に増加した。

区分別利用台数

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期計
郵便局	10台	10台	9台	10台	13台	10台	62台
西部地域福祉センター	8台	10台	7台	14台	7台	7台	53台
南部地域福祉センター	11台	8台	6台	10台	11台	6台	52台
合 計	29台	28台	22台	34台	31台	23台	167台

区 分	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下半期計	年度計
郵便局	13台	15台	13台	13台	13台	12台	79台	141台
西部地域福祉センター	10台	12台	2台	3台	12台	8台	47台	100台
南部地域福祉センター	10台	13台	9台	7台	10台	6台	55台	107台
合 計	33台	40台	24台	23台	35台	26台	181台	348台

年度別貸出回数

区 分	4年度	3年度	2年度	元年度	30年度
郵便局	141台	111台	71台	112台	107台
西部地域福祉センター	100台	65台	42台	57台	102台
南部地域福祉センター	107台	58台	38台	60台	78台
合 計	348台	234台	151台	229台	287台

(5) 菊地久治奨学福祉事業

(ア) 勉学奨励奨学金

実施内容

佐倉市在住のひとり親世帯で低所得世帯に属する、意欲と能力のある学生の勉学支援を行うため、奨学福祉事業を実施している。令和5年度奨学生について、大学進学者、大学在学者の両方を対象に7月に募集、9月に第1次選考、10月に第2次選考をおこない、大学進学者、大学在学者各1名を決定した。また、在籍奨学生の育成支援として、成績報告会や合同研修の実施の他、学業・生活等の個別の相談やボランティア活動の紹介を行った。

a. 勉学奨励奨学金 交付件数・金額(内訳)

年 度	在 学 生	進 学 決 定 者	合 計	交 付 額 計
令和4年度	8人	1人	9人	8,074,490円
令和3年度	7人	1人	8人	7,084,000円
令和2年度	5人	0人	5人	4,597,730円

※進学決定者は、その年度において、大学進学者向け募集で決定した者

※交付額は、在学生の当該年度学校納入額+進学決定者の入学時納入金額の合計(令和2年度より国の奨学金制度による授業料免除が導入され、年度をまたいだ返還があり、年度の支出額と差異がでる場合がある。)

b. 卒業生・その他(辞退等)

年 度	人 数
令和4年度	4人
令和3年度	0人
令和2年度	0人
令和元年度	5人
平成30年度	4人
平成29年度	1人
平成28年度	2人
平成27年度	5人
平成26年度	2人
平成25年度	2人(うち辞退1名)
平成24年度	1人

※平成29年度卒業生(大学在学者1名)は、支給延長により、平成30年度大学院に入学した。

c. 広報PR・募集活動

令和5年度募集に関して、県内高等学校、対象と想定する大学、ホームページ、民生委員児童委員協議会、スクールソーシャルワーカーへ募集案内を周知した。

d 奨学生選考委員会
大学進学希望者

回数	開催日	会場	出席者数	内容
第1回	9月11日(日)	2階会議室	委員5名	・諮問 ・奨学生第一次選考について(書類選考)
第2回	10月9日(日)	2階会議室	委員5名 職員3名	・奨学生第二次選考について(面接)
答申	11月2日(金)	※書面にて答申を行った。		

e. 奨学生への支援

月次報告の他、随時奨学生と連絡し、生活面・家庭面・学業面で困りごとや悩みごと等の状況確認を行い奨学生への支援を行った。また、市内での社会奉仕活動についての情報を伝え活動を支援した。

f 研修

奨学生が地域の活動や課題に触れ、学ぶ機会を通して自ら意欲的に社会貢献できる人材を育成すること、奨学生同士の交流を通して互いに切磋琢磨しながら成長できることを目的に合同研修を年2回実施した。

夏期交流研修

日時	会場	出席者	内容
7月24日 (日)	志津コミュニティー センター周辺	奨学生6名 事務局2名	障がいのある人もない人も誰もが住みよい街にするために、障がい者団体等連絡会が開催した『まちのバリア点検会』へ参加し、障がいの目線で市内のバリアを点検し、ワークショップを中心となって運営した。

冬期研修

日時	会場	奨学生出席者数	内容
3月21日 (火) ～22日(水)	草ぶえの丘 シェアハウス	奨学生8名 事務局4名	3年ぶりに宿泊学習をおこない親睦を図るとともに、今後の奨学生同士の交流の在り方について検討した。二日目は1年間の学業・生活状況、コロナ禍で考えたことを個別に発表し、互いに講評をした。資料作成からプレゼンする方法等を学び、学業や就職活動等へも活用できる機会とした。

g 生活状況報告会

奨学生より学校生活・学業成績・社会奉仕活動状況の報告を受け、次期に取り組む活動の課題と目標を整理して奨学生の一層の資質の向上につなげることを目的として成績報告会を2回開催した。対面での個別面接としたが、コロナ禍のため一部リモートでの面接を実施した。

日付	時間	内容
10月9日(日)	正午～午後3時	・奨学生の前期学業成績 ・生活状況についての個別面談
3月21日(月)	午前9時～正午	・奨学生の後期学業成績 ・生活状況についての報告

(イ) 勉学奨励一時金

実施内容

令和4年度に生活福祉資金貸付事業の教育支援資金を借受者に対して入学時に勉学奨励一時金を交付した。

勉学奨励一時金 交付件数・金額(内訳)

年 度	高等学校	専門学校	短期大学	大 学	その他	合 計	交付額
令和4年度	2件	6件	0件	4件	0件	12名	380,000円
令和3年度	2件	1件	2件	3件	0件	8名	250,000円
令和2年度	4件	2件	0件	4件	0件	10名	300,000円

(6) 法人後見事業

実施内容

福祉サービス利用援助事業で培った高齢者や障害のある人への支援のノウハウを活かし、成年後見制度を活用し本人の意思決定を尊重した支援を行い、本人の権利擁護を実践した。

(ア) 成年後見制度に関する広報・啓発活動

(イ) 成年後見制度に関する相談業務

※ ア・イについては、成年後見支援センター事業で報告。

(ウ) 成年後見人等の受任の可否に係る弁護士、司法書士との協議

※ 今年度は未開催。

(エ) 後見業務(被後見人等の身上保護及び財産管理) (令和4年4月～令和5年3月末)

	被後見人等	後見類型	生活形態	審判の確定日	支援回数
1	知的障害・男性 59歳	保佐	グループホーム入所	平成24年11月13日	196回
2	精神障害・女性 58歳	後見	精神病院入院	平成24年12月8日	34回
3	精神障害・男性 57歳	保佐	在宅	平成26年6月3日	53回
4	精神・高齢 男性 73歳	後見	特別養護老人ホーム入所	令和3年9月14日	76回
5	精神・高齢 男性 71歳	後見	精神病院入院から療養病棟のある病院へ変更	平成27年10月21日	65 ⇒ 死亡
6	高齢者・女性 82歳	後見	特別養護老人ホームから療養病棟のある病院へ変更	平成28年6月3日	112回
7	高齢者・女性 89歳	後見	特別養護老人ホーム入所	平成29年3月22日	28回
8	高齢者・女性 96歳	後見	特別養護老人ホーム入所	平成29年6月14日	67回
9	高齢者・女性 92歳	後見	特別養護老人ホーム入所	平成29年11月3日	23回
10	知的障害・男性 53歳	保佐	在宅	平成29年11月29日	54回
11	高齢者・女性 89歳	後見	特別養護老人ホーム入所	平成30年6月7日	80回
12	精神障害・女性 62歳	後見	特別養護老人ホーム入所	平成30年12月28日	34回
13	高齢者・男性 82歳	後見	ショートステイ利用	平成31年2月28日	73回
14	高齢者・女性 92歳	後見	有料老人ホーム入所	平成31年3月5日	73回
15	高齢者・女性 84歳	後見	在宅	令和2年8月14日	65回
16	精神障害・男性 42歳	保佐	在宅	令和2年12月22日	113回
17	高齢者・男性 75歳	後見	特別養護老人ホーム入所	令和2年12月23日	82 ⇒ 死亡
18	高齢・身体 女性 81歳	後見	精神病院入院	令和3年9月9日	92回
19	高齢者・女性 87歳	保佐	老人保健施設入所	令和3年9月29日	89回

(オ) 監督業務(成年後見人の交代案件) (令和4年4月～令和5年3月末)

	被後見人	後見類型	生活形態	選任の確定日	後見人
1	高齢者・女性 82歳	後見	特別養護老人ホーム入所	令和3年6月22日	NPO法人 佐倉市民後見人協会
2	高齢者・女性 94歳	後見	特別養護老人ホーム入所	令和3年6月24日	NPO法人佐倉市民後見人協会 令和4年11月23日死亡

(カ) 後見業務における弁護士、司法書士等の専門家との連携

- ・必要に応じて弁護士相談や専門相談(成年後見支援センター)、および電話対応。

(キ) 関係機関との連携

- ・銀行や郵便局との関わり
- ・家庭裁判所との関わり
- ・佐倉市役所関係各課との関わり(健康保険課・高齢者福祉課・障害福祉課・社会福祉課等)
- ・被後見人等の親族との関わり
- ・福祉関係機関(福祉施設、包括支援センター、相談支援事業所、在宅福祉サービス事業所等)との関わり
- ・病院、保健所等保健・医療機関との関わり
- ・弁護士、司法書士、社会福祉士等の専門職及び職能団体との関わり
- ・NPO法人佐倉市民後見人協会との連携

(7) 移動サービス事業

実施内容

電車、バス、タクシーといった公共交通機関を利用して一人で外出することが困難な高齢者や障がい者等が、通院、福祉サービスの利用や趣味などの社会参加を図るため、市民相互による支え合い事業として移動サービス事業を実施した。
コーディネーター5名体制で事務局スタッフとコーディネーターによるケース会議を月2回開催し利用会員の調査、協力会員の研修、サービスのコーディネートを行い、事業を実施した。

(ア) 会員の状況

利用会員(メンバー)の状況

会員種別	令和4年度	令和3年度	令和2年度
利用会員 (メンバー)	48名	63名	57名
	介護認定39人、障がい者19人、その他3人(重複あり)	介護認定51人、障がい者20人、その他4人(重複あり)	介護認定48人、障がい者16人、その他2人(重複あり)
協力会員 (サポーター)	15名	18名	21名
後援会員 (スポンサー)	10件 22,000円	12件 32,000円	25件 45,000円

(イ) 利用目的別回数

年度	通院	送迎	趣味	買物	その他	合計
令和4年度	465	16	3	67	14	565回
令和3年度	569	25	0	115	25	734回
令和2年度	232	26	13	48.5	6.5	326回

※令和3年度より、(回数)集計方法を法人主体の移動サービス事業補助金報告に合わせた。

(ウ) 運行実績

年度	稼働日	活動距離数	活動時間数	車両数
令和4年度	184日	3,975.00km	626時間54分	4台
令和3年度	212日	5,004.00km	811時間36分	4台
令和2年度	186日	4,082.00km	991時間26分	4台

※令和3年度より、(回数)集計方法を法人主体の移動サービス事業補助金報告に合わせた。

(エ) サポーター基本研修

年度	実施日	参加者(修了者)
令和4年度	9月3日(土)、9月4日(日)	8名
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・移動サービス概論 移動サービス活動の実際、移動サービスの利用者を理解する接遇と介助 ・移動サービスでの運転に必要な知識と心構え 福祉車両について、運転実技 ・移動サービスに必要な介助技術 交通安全講習、修了証書授与(後日交付) 	

(オ) サポーター現任者研修・交流会

年 度	実施日	内 容	参加者
令和4年度	1月25日(木)	移動サービスの基本的事項の確認、 サポーター意見交換・交流	9名

(カ) 移動サービスコーディネーター会議

年 度	令和4年度
開催回数	21回

毎月2回、コーディネーターと職員が集まり、新規訪問ケースの報告・検討、訪問予定ケースの報告・調整、移動サービス運行上のケース情報の共有を行い、日常的運行の円滑化を図った。

(8) 生活困窮世帯子ども支援事業

実施内容

元気に育て子ども基金を財源に、佐倉市在住で経済的な理由等により、生活困窮世帯に属する子どもが、健やかに育つように必要な資金として支援金を交付し、世帯の自立援助に寄与するために実施した。

(ア) 支援金交付実績

	件数	金額(円)	主な用途
4月	1	72,960	学費(ひとり親世帯、高校入学の学納金や制服代の支援)
5月			
6月			
7月	2	200,000	学費、通学費、水光熱費(ひとり親世帯、高校の学費・交通費、子どもの生活環境支援)
8月			
9月			
10月			
11月			
12月			
1月	1	100,000	出産費用(多問題世帯、障がいをもつ親の出産費用の支援)
2月	2	551,172	転居費用(多問題世帯の緊急転居費用支援) 出産費用(外国籍世帯、出産費用の支援)
3月	1	100,000	教科書代、制服代(ひとり親世帯、高校の教科書代・制服代の支援)
合計	7	1,024,132	

(イ) 関係機関などとの連携

生活困窮者自立支援事業での相談支援や児童青少年課、学校、民生委員など関係機関と連携し、困窮世帯の子ども支援に取り組んだ。

(9) 終末ケア・終活支援事業

実施内容

エンディングノート「心の遺言ノート」の告知をホームページや各種会議で行い、関係機関へ宣伝して7部を販売した。
終活に関する講演会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から実施を見送った。

7 福祉総合相談事業

実施内容

日常生活上のさまざまな悩みを抱える地域住民に対して、相談に応じ、相談者ごとの諸問題について適切な助言と援助を行うことで、問題解決に向けての協力をを行った。
 相談に対して即応し、早期問題解決へつなげるよう心配ごと相談窓口を開設した。さらに内容によっては法律相談などの専門相談や関係機関へ結ぶなどの対応を行った。
 なお、佐倉市福祉総合相談所運営委員会は新型コロナウイルス感染防止の観点から中止となった。

ア 設置状況

相談内容	開設場所		開設日	開設時間
心配ごと相談	佐倉	社会福祉センター	毎週月曜日	10:00～15:00
	志津	西部地域福祉センター	第1・3水曜日	10:00～15:00
	根郷	南部地域福祉センター	第2・4金曜日	10:00～15:00
法律相談	社会福祉センター		毎月第4月曜日	10:00～15:00
介護生活相談	社会福祉センター		毎週月曜日～金曜日	8:30～17:00
ボランティア相談	社会福祉センター		毎週月曜日～金曜日	8:30～17:00
貸付相談	社会福祉センター		毎週月曜日～金曜日	8:30～17:00

イ 福祉総合相談所相談状況

相談名	相談件数			相談内容件数		
	4年度	3年度	2年度	4年度	3年度	2年度
心配ごと相談(佐倉)	36件	32件	13件	38件	34件	13件
〃 (志津)	23件	15件	13件	24件	16件	13件
〃 (根郷)	12件	10件	9件	12件	10件	9件
法律相談	90件	40件	48件	118件	62件	48件
介護生活相談	24件	29件	36件	24件	29件	36件
ボランティア相談	324件	221件	147件	324件	221件	147件
合計	509件	347件	266件	540件	372件	266件

ウ 内容件数内訳(心配ごと相談・法律相談)

(単位 件)

相談事項	心配ごと									法律			合計 (心配ごと+法律)		
	佐倉			志津			根郷			佐倉					
	4年度	3年度	2年度	4年度	3年度	2年度	4年度	3年度	2年度	4年度	3年度	2年度	4年度	3年度	2年度
1 年金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4	1	4	4	1
2 生計	0	1	2	0	0	2	0	0	0	1	1	0	1	2	4
3 職業・生業	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0	2	2
4 住宅	0	2	1	4	3	1	0	1	0	2	3	0	6	9	2
5 家族	14	6	5	11	6	2	4	2	4	5	3	2	34	17	13
6 DV問題	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
7 結婚	1	8	0	0	1	0	0	1	1	17	4	4	18	14	5

8	離 婚	0	1	0	1	0	1	0	0	0	8	0	0	9	1	1
9	健康・衛生	1	2	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	3	1	
10	医 療	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	2	2	0
11	精神保健福祉	3	0	0	0	0	0	2	0	0	34	21	19	39	20	19
12	人権・法律	3	1	1	0	0	1	0	0	0	30	20	13	33	20	15
13	財 産	4	3	1	2	0	1	1	0	0	14	2	5	21	5	7
14	事 故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15	児童・母子保健	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
16	教育・青少年	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	2	1
17	心身障がい者福祉	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0
18	母子・父子福祉	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0
19	高齢者福祉	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1
20	苦 情	0	0	0	3	0	0	1	0	0	0	0	0	4	0	0
21	ボランティア	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	3	1	1	4	2
22	近 隣	7	3	2	2	3	0	2	2	0	0	0	0	11	8	2
23	その他	3	5	1	0	2	2	2	1	2	0	0	0	5	8	5
24	ひきこもり	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
合 計		38	34	13	24	16	13	12	10	9	118	62	48	192	122	83

エ 会議及び研修

(ア) 市民相談員及び心配ごと相談員合同研修

日 時	令和5年3月17日(金) 午前10時～11時45分
場 所	佐倉市中央公民館
内 容	テーマ「暮らしの中から見えるさまざまな困りごと」 講師 社会福祉法人愛光ワークショップかぶらぎ 管理者 近藤 美貴 氏

(イ) 心配ごと相談員会議

日 時	令和4年11月24日(木) 午後2時～4時
場 所	社会福祉センター地下研修室
内 容	1. 相談員自己紹介、オブザーバー自己紹介 2. 心配ごと相談について 3. 所長、福祉総合相談所運営委員の選任

(ウ) 令和4年度印旛ブロック市町社会福祉協議会 相談事業運営研究協議会

新型コロナウイルス感染防止の観点から研究協議会を中止し、調査票による意見聴取とした。

(エ) 佐倉市福祉総合相談所運営委員会

新型コロナウイルス感染防止の観点から研究協議会を中止とした。

8 受託事業

(1) 声の広報等発行事業

実施内容

市内在住の視覚に障がいのある方々に対して、地域で生活していくために必要な情報を載せた広報紙を音声や点字に変換して提供を市民ボランティアの協力を得て情報提供を行った。また、点訳・音訳活動ボランティアや障がい当事者の協力を受け小学校での福祉教育を開催し、障がい者理解の一助につなげた。

【音 訳】

発行広報	発行回数	送付数	ボランティア数
こうほう佐倉	24回	571名／延べ人数	100名
こうほう佐倉(特集号) (健康特集号/健康福祉特集号 確定申告特集号/佐倉市決算)	4回	95名／延べ人数	16名
月刊こおろぎ	4回	97名／延べ人数	16名
風媒花	1回	25名／延べ人数	13名
個人からの依頼(家電取扱説明書)	2回	2名／延べ人数	11名
計	35回	790名／延べ人数	156名

【点 訳】

発行広報・書類	発行回数	送付数	ボランティア数
野菊通信	9回	155名／延べ人数	92名
盲学校/聾学校からの依頼	3回	3名／延べ人数	5名
福祉教育講話用資料作成	1回	1名／延べ人数	1名
計	13回	159名／延べ人数	98名

(2) 生活福祉資金貸付事業

実施内容

低所得世帯、高齢者世帯、障がい者・児世帯に対して、経済的自立と更生意欲の助長促進を図ることを目的としている。相談援助の中で必要な資金の貸付を行い、その後も継続して民生委員はじめ関係機関との連携のもとで、借受世帯を見守り、支援している。

令和2年度から続く、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた方を対象とする、緊急小口資金等特例貸付(新型コロナウイルス特例小口貸付資金と新型コロナウイルス特例総合支援資金)の申請において新規貸付、再貸付、延長貸付と継続し、くらしサポートセンター佐倉と連携しながら貸付と自立相談に取り組んだ。

(ア)生活福祉資金貸付件数

資金種類		貸付決定件数(件)／金額(円)内訳					
		令和4年度		令和3年度		令和2年度	
総合支援資金	生活支援費	-	-	-	-	-	-
	住宅入居費	-	-	-	-	-	-
	一時生活再建費	-	-	-	-	-	-
	増額申請	-	-	-	-	-	-
	生活支援費(特例貸付)	8	2,640,000	175	106,380,000	508	275,820,000
	生活支援費(特例延長)	-	-			233	126,500,000
	生活支援費(特例再貸付)	-	-	308	162,700,000	78	4,293,000
緊急小口資金		87	5,415,000	73	4,165,000	-	-
緊急小口資金(特例貸付)		30	5,080,000	241	42,560,000	860	163,535,000
臨時特例つなぎ資金		-	-	0	-	-	-
教育支援資金	教育支援費・就学支度費	23	13,505,000	8	8,150,000	19	11,200,000
福祉費	転宅費	-	-	1	175,000	1	-
	障害者自動車購入費	1	1,490,000	-	-	1	-
	療養費	-	-	1	1,061,000	-	-
	福祉用具購入費	-	-	-	-	-	-
	住宅改修費	-	-	-	-	1	-
	小規模住宅改修	-	-	-	-	-	-
	災害援護費	-	-	-	-	-	-
	技能修得費	-	-	-	-	1	1,600,000
	冠婚葬祭	-	-	1	136,400	-	-
復興支援資金		-	-	-	-	-	-
不動産担保型生活資金		-	-	-	-	-	-
要保護世帯向け不動産担保型生活資金		-	-	-	-	-	-
合計		149	28,130,000	808	325,327,400	1,702	582,948,000

(イ)貸付関係相談件数

	令和4年度	令和3年度	令和2年度
貸付関連相談件数(延べ)	-	-	6,387

※ 特例貸付の対応は、事務局全体で初期相談、経過確認、連絡等を行ったため件数集計できず。

(ウ)生活福祉資金借受世帯支援状況の調査

民生委員・児童委員協議会と連携し、生活福祉資金借受世帯に対する民生委員の支援活動状況の把握調査を行った。

(3) 日常生活自立支援事業

実施内容

高齢者や障がい者等判断能力に不安のある方が、安心して地域生活を送るために、必要な福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理をご本人との契約により行うとともに、本事業の普及を行った。

(ア)実施状況 令和5年3月末現在

年 度	4年度	3年度	2年度
新規契約者数	11人	21人	35人
解 約 数	25人	19人	20人
契約締結審査 会 承 認 数	6人	10人	17人
県後見支援センター 事務局審査承認数	8人	11人	18人

年 度	4年度	3年度	2年度
利 用 者 数	96人	110人	104人
生活支援員数	22人	20人	21人

年 度	4年度	3年度	2年度
福祉サービス利 用 援 助	96件	110件	104件
財 産 管 理	96件	108件	102件
財 産 保 全	8件	5件	4件

対象別	契約ケース			解約ケース		
	人 数			人 数		
	4年度	3年度	2年度	4年度	3年度	2年度
高 齢 者	62人	69人	69人	19人	17人	19人
知的障がい	9人	9人	6人	0人	0人	0人
精神障がい	30人	34人	32人	5人	2人	4人
そ の 他	12人	14人	11人	2人	1人	0人
合 計	113人	126人	118人	26人	20人	23人

※重複あり

(支援回数)

回数別	人 数		
	4年度	3年度	2年度
月 1 回	61人	68人	66人
月 2 回	24人	27人	24人
週 1 回	2人	3人	3人
そ の 他	9人	12人	11人
合 計	96人	110人	104人

(イ) 契約締結審査会

(件)

回数	開催日時	新規	評価	解約	契約変更	その他
第266回	4月19日(火)	0	10	1	0	0
第267回	5月24日(火)	0	4	4	1	0
第268回	6月21日(火)	0	6	1	0	0
第269回	7月19日(火)	2	7	2	0	0
第270回	8月23日(火)	0	5	2	0	0
第271回	9月20日(火)	0	10	4	1	0
第272回	10月18日(火)	0	5	2	0	0
第273回	11月22日(火)	0	16	2	0	0
第274回	12月20日(火)	0	8	1	0	0
第275回	1月24日(火)	1	5	3	0	0
第276回	2月21日(火)	0	10	1	2	0
第277回	3月22日(水)	3	6	2	0	0
合計		6	92	25	4	0

(ウ) 連絡会議

日 時	令和4年9月22日(木) 13:00~14:30
場 所	事務局 会議室
出 席 者	事務局長1名、専門員2名
内 容	【Web開催】 第1回 日常生活自立支援事業連絡会議 令和5年度事業業務委託費(案)、利用料等の変更、実施上の課題等についての意見交換

日 時	令和4年9月22日(木) 15:00~16:45
場 所	事務局 会議室
出 席 者	専門員2名
内 容	【Web開催】 千葉県後見支援センター関係機関連絡会議 日常生活自立支援事業関連制度と成年後見制度との連携の在り方等についての調査研究事業について、調査研究事業の概要・研究結果について、実践報告

日 時	令和5年2月1日(水) 13:30~15:30
場 所	事務局 会議室
出 席 者	専門員4名
内 容	【参集開催】 印旛郡市連絡会議 日常生活自立支援事業における利用料の取扱い、生活支援員に支給する手当額の算出基準について、その他・情報交換

日 時	令和5年2月27日(月) 13:30~15:30
場 所	事務局 会議室
出 席 者	専門員2名
内 容	【Web開催】 第2回 日常生活自立支援事業連絡会議 令和5年度日常生活自立支援事業に係る予算について、専門員業務マニュアルの変更について、その他事業実施上の課題等に関する意見交換、事務連絡

(エ)生活支援員研修(佐倉市社会福祉協議会主催)

日 時	令和4年6月27日(月)10:00~11:30
場 所	社会福祉センター 地下研修室
出 席 者	生活支援員11名
内 容	実施記録簿の記入方法について、意見交換、その他・事務連絡

日 時	令和4年11月25日(金)13:30~15:00
場 所	社会福祉センター 地下研修室
出 席 者	生活支援員15名
内 容	実施記録簿の記入方法について、グループワークによる意見交換会(生活支援員になったきっかけ、日常生活自立支援事業の各支援員に求められる倫理と基本姿勢について、生活支援員としてやりがいや課題と感ずること)、その他・事務連絡

(オ)その他研・会議等(県社会福祉協議会主催)

日 時	令和4年4月20日(水)13:30~16:35
主 催	千葉県社会福祉協議会、千葉県後見支援センター
場 所	事務局 会議室
出 席 者	専門員4名
内 容	【Web開催】「日常生活自立支援事業に係る新任専門員研修会」 事業説明①:日常生活自立支援事業の概要、 事業説明②:日常生活自立支援事業の運営について

日 時	令和4年4月27日(水)13:30~16:35
主 催	千葉県社会福祉協議会、千葉県後見支援センター
場 所	事務局 会議室
出 席 者	専門員4名
内 容	【Web開催】「日常生活自立支援事業に係る新任専門員研修会」 事業説明③:契約締結審査会について・契約締結審査会の流れ紹介 講義:「認知症高齢者の理解」、講義:「精神障害者の理解」

日 時	令和4年7月27日(水)13:30~16:30
主 催	千葉県社会福祉協議会、千葉県後見支援センター
場 所	事務局 会議室
出 席 者	専門員2名
内 容	【Web開催】「日常生活自立支援事業 現任専門員研修会」 講義:「保佐・補助制度の活用について」、講義:「困難ケースの対応について」 講義:「日常生活自立支援事業の適正な実施の徹底について」

日 時	令和4年11月11日(金)13:30～16:00
主 催	千葉県社会福祉協議会、千葉県後見支援センター
場 所	事務局 会議室
出 席 者	専門員3名、生活支援員2名
内 容	【Web開催】 「日常生活自立支援事業 生活支援員・担当者等研修会」 基調講演:「日常生活自立支援事業における意思決定支援について」 実践発表:「意思決定支援について」

日 時	令和5年2月2日(木)13:30～16:00
主 催	千葉県社会福祉協議会、千葉県後見支援センター
場 所	事務局 相談室
出 席 者	専門員1名
内 容	【Web開催】「令和4年度成年後見利用促進体制整備のための千葉県域会議」 説明Ⅰ:成年後見制度利用促進における課題等について、 説明Ⅱ:家庭裁判所の業務について、 説明Ⅲ:千葉県内の成年後見制度利用促進体制整備の取組状況について、 県内市町村からの実践報告:成年後見制度利用促進体制整備の取組の現状について、 質疑応答・意見交換

日 時	令和5年2月13日(月)13:30～16:30
主 催	千葉県社会福祉協議会、千葉県後見支援センター
場 所	事務局 地下研修室
出 席 者	専門員6名、法人後見支援員6名
内 容	【Web開催】「令和4年度法人後見専門員研修会」 基調講義:「成年後見制度における意思決定支援について」、 実践発表:「法人後見における意思決定支援の実際」、情報共有・意見交換:「法人後見における意思決定支援について」

日 時	令和5年2月28日(火) 講義時間150分
主 催	千葉県社会福祉協議会、千葉県後見支援センター
場 所	事務局 会議室
出 席 者	専門員2名
内 容	【オンデマンド配信】「令和4年度市町村長申立て研修会」 講義:「成年後見制度の概要と市町村長申立ての実務について」

(4) 成年後見支援センター

実施内容

令和2年4月より中核機関として成年後見制度の更なる周知と啓発、制度利用の相談および申立て支援、地域連携ネットワークへの参加促進を諮った。
また権利擁護の必要がある対象者について、多職種による事例検討を行った。更には、新たな担い手の育成として、第2回目となる「市民後見人養成講座」を開講した。

(ア) 成年後見制度の周知及び啓発

①正しい成年後見制度等の情報(広報紙、パンフレット等)をセンターに常備し、市民等へ配布 ②講演会の実施 ③ホームページの管理運営 ④関係機関への地域連携ネットワークへの参加促進、広報啓発 ⑤地域連携ネットワークへの新規参加者の発掘 ⑥地域連携ネットワーク構成員への研修等開催 ⑦成年後見制度利用促進基本計画に係る佐倉市の取り組みへの協力 ⑧佐倉市基本計画に沿った協議・立案会議の開催

成年後見制度講演会

開催日	令和4年月19日(土)	参加者	37名
場 所	佐倉市南部地域福祉センター研修室		
内 容	【講演】「任意後見契約」「公正証書」の有益性について 講師:小宮山 茂樹 氏(公証人)		

地域連携ネットワークづくり研修会

開催日	令和4年10月19日(金)	参加者	48名
場 所	Zoom		
内 容	1.講義Ⅰ「成年後見制度の概要と今後のゆくえについて」 2.講義Ⅱ「本人を取り巻くネットワークについて」 I・II 講師:佐久間 貴幸 氏(弁護士) 3.佐倉市成年後見支援センターの業務紹介		

佐倉市と基本計画に沿った協議・企画立案会議(毎月開催)

(イ) 相談業務

①成年後見制度に関する情報提供(来所および電話、出張相談) ②成年後見人の業務、活動の概要説明 ③専門機関等の紹介 ④申立て支援、⑤権利擁護支援の必要性、成年後見制度・サービス等利用の検討(アセスメント・スクリーニングの実施) ⑥成年後見制度以外のサービス等への連携及び繋ぎ ⑦相談の記録と保管 ⑧受任調整会議の開催 ⑨専門相談の開催

相談件数(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
専門相談		5	6	5	4	5	6	6	5	4	5	6	57
一般相談	49	56	59	50	41	43	28	41	42	34	42	79	564
月別集計	49	61	65	55	45	48	34	47	47	38	47	85	621

出張説明会

開催日	令和4年6月28日(火)	参加者	20名
場 所	臼井公民館		
内 容	佐倉市臼井・千代田地域包括支援センター介護者教室「成年後見制度について」		
開催日	令和4年7月10日(日)	参加者	14名
場 所	南部地域福祉センター		
内 容	佐倉市南部地域包括支援センター介護者教室「成年後見制度ってなに？」		
開催日	令和5年1月21日(土)	参加者	10名
場 所	かぶらぎワークショップ		
内 容	かぶらぎワークショップ家族会「成年後見制度と日常生活自立支援事業」		

受任調整会議及び運営会議、事例検討会の開催

第1回	7/29(金)	佐倉市成年後見支援センター(中核機関)受任調整会議及び第1回運営会議
第2回	10/28(金)	佐倉市成年後見支援センター(中核機関)受任調整会議、事例検討会
第3回	12/19(月)	佐倉市成年後見支援センター(中核機関)受任調整会議及び第2回運営会議
第4回	2/10(金)	佐倉市成年後見支援センター(中核機関)受任調整会議、事例検討会

(ウ)成年後見人等の支援

成年後見人等からの①相談対応 ②支援チーム編成支援 ③専門職等からの協力を受けられる支援 ④成年後見事務の支援や助言 ⑤支援体制の変更が望ましいと考えられる際の関係者等との相談対応及び連携 ⑥新たな成年後見人候補者の推薦を含めた、家庭裁判所との相談・連携

(エ)市民後見人の支援及び活用業務

①佐倉市市民後見人名簿の登録及び管理、佐倉市への書類提出、②スキルアップ研修、③佐倉市市民後見人名簿登録者の成年後見に関する活動状況調査と継続掲載の意向確認、④名簿登録者への情報提供、⑤佐倉市市民後見人名簿登録者へ随時の成年後見制度に関する情報提供、⑥市民後見人選任に関し、佐倉市への市民後見人養成講座修了生の情報提供や受任調整会議への出席等についての協力、佐倉市や家裁から推薦依頼があった場合の面接選考等の実施と推薦者の選定、⑦市民後見人の選任や効果的な活用について家裁と調整、協議を行う、⑧実務相談等の市民後見人の後見活動支援、⑨市民後見人養成講座の開催

a 佐倉市市民後見人名簿登録者:8名

市民後見人選任:1件、NPO法人市民後見人協会への後見人交代:2件(社協が監督人に選任)

b 名簿登録者スキルアップ

開催日	研修内容	参加数
6月27日(月)	「任意後見契約と家族信託」について ※ NPO法人佐倉市民後見人協会との合同開催	5名 (計16名)
11月19日(土)	講演会の映像を視聴する研修及び法人後見事業の動向 視聴後レポート提出	5名
2月13日(月)	「意思決定支援について」(県社協Zoom研修) 市民後見人からの実践報告会	6名

※ 日常生活自立支援事業生活支援員及び法人後見事業支援員としての活動

市民後見人養成講座事前説明会

第1回	10月15日(土)	参加者	10名
第2回	10月22日(土)	参加者	11名

※その他、個別事前説明期間を設け、事前説明会と併せて延べ30名からの問い合わせあり。

市民後見人養成講座の開催 (前期カリキュラム全5日間 受講決定者25名)

1日目	12月17日(土)	4日目	2月25日(土)
2日目	1月21日(土)	5日目	3月4日(土)
3日目	2月11日(土)		

(オ)その他

- | | |
|------------------------|----|
| ①佐倉市障害者総合支援協議会啓発権利擁護部会 | 7回 |
| ②認知症対策検討会 | 2回 |
| ③相談支援事業所との事例検討会 | 6回 |

(5) 生活困窮者自立支援事業

実施内容

佐倉市から生活困窮者自立支援事業を受託し、行政や地域包括支援センター、中核地域生活支援センター、相談支援事業所、地区社協、民生委員、地域住民などと連携し、生活困窮者に対して家計、就労、ひきこもりなどの相談支援を包括的・継続的に行った。

(ア) 相談ならびに支援状況

内 容		件 数	備 考
相談支援対応件数(延べ)		5,015件	
うちひきこもり相談支援対応		830件	
うち住居確保給付金対応		352件	新規11件、延長8件、再延長6件、再支給5件、変更3件
新規相談受付件数		532件	
うちひきこもり相談支援新規受付		29件	
うち住居確保給付金新規受付		11件	
支援決定(確認)件数(新規)		109件	新規(うち緊急支援64件)
支援決定(確認)件数(再プラン)		59件	
支援終結件数		109件	
支援継続件数		29件	
自立相談支援(新規+再プラン)		168件	重複あり (新規+再プランケース)
(内訳)	住居確保給付金	35件	
	家計改善支援	92件	
	就労準備支援	24件	
	認定就労訓練事業	3件	
	自立相談支援事業による就労支援	83件	

(イ) 自立支援計画支援調整会議の開催

回	日 時	場 所	出席者数	内 容
1	4月21日(木)	社会福祉センター 地下研修室	15名	新規ケース 9件(うち緊急支援5件) 評価ケース 10件(うち再プランケース2件)
2	5月19日(木)	社会福祉センター 地下研修室	14名	新規ケース 12件(うち緊急支援4件) 評価ケース 17件(うち再プランケース10件)
3	6月15日(木)	社会福祉センター 地下研修室	16名	新規ケース 14件(うち緊急支援4件) 評価ケース 13件(うち再プランケース6件)

4	7月21日(木)	社会福祉センター 地下研修室	12名	新規ケース 6件(うち緊急支援0件) 評価ケース 13件(うち再プランケース3件)
5	8月18日(木)	社会福祉センター 地下研修室	15名	新規ケース 9件(うち緊急支援9件) 評価ケース 12件(うち再プランケース6件)
6	9月15日(木)	社会福祉センター 地下研修室	13名	新規ケース 8件(うち緊急支援6件) 評価ケース 21件(うち再プランケース4件)
7	10月20日(木)	社会福祉センター 地下研修室	17名	新規ケース 10件(うち緊急支援5件) 評価ケース 13件(うち再プランケース7件)
8	11月17日(木)	社会福祉センター 地下研修室	16名	新規ケース 10件(うち緊急支援7件) 評価ケース 16件(うち再プランケース6件)
9	12月15日(木)	社会福祉センター 2階会議室	17名	新規ケース 10件(うち緊急支援8件) 評価ケース 15件(うち再プランケース2件)
10	1月19日(木)	書面審査		新規ケース 5件(うち緊急支援4件) 評価ケース 12件(うち再プランケース3件)
11	2月16日(木)	社会福祉センター 地下研修室	13名	新規ケース 7件(うち緊急支援2件) 評価ケース 9件(うち再プランケース2件)
12	3月17日(木)	社会福祉センター 地下研修室	14名	新規ケース 9件(うち緊急支援7件) 評価ケース 17件(うち再プランケース8件)

※「評価ケース」とは、定期的な支援内容の確認や支援の継続等を検討するケース

(ウ) 視察、派遣、取材対応

対応種別	日時	場所	対応内容
派遣	11月16日(水)	千代田・染井野 ふれあいセンター 第一会議室	介護支援専門員勉強会 くらしサポートセンター佐倉の事例を含めた事業 説明
派遣	11月19日(土)	臼井田自治会館	くらしサポートセンター佐倉の事例を含めた事業 説明

(エ) 児童虐待防止ネットワーク会議

回	日時	場所	会議名(主催)
1	5月2日(月)	2号館 会議室	児童虐待防止ネットワーク 実務者会議 進行管理会議(こども家庭課)
2	8月4日(木)		
3	11月7日(月)		
4	2月10日(金)		

(オ)印旛地域生活困窮者自立支援事業ネットワーク協議会会議関係

<総会>

回	日 時	場 所	内 容
1	7月29日(金)	書面評決	<検討事項> 議案第1号 令和3年度事業報告(案)及び決算報告(案)について 議案第2号 会則の変更について 議案第3号 令和4年度事業計画及び収支予算(案)について

<研修会>

回	日 時	場 所	内 容
1	10月29日(土)	成田市勤労会館	印旛地域生活困窮者自立支援事業ネットワーク協議会 自立支援セミナー/情報共有会 「障害年金の申請と知っておきたい基礎知識」 講師:特定非営利活動法人 みんなでサポート千葉 岩崎 眞弓 氏(特定社会保険労務士) 鏑木 優子 氏(社会保険労務士)
2	2月25日(土)	佐倉市西部地域福祉センター会議室	印旛地域生活困窮者自立支援事業ネットワーク協議会 自立支援セミナー/研修会 「対人支援に活かす交流分析～「動機づけ面接法」の風味を添えて～」 講師:松本 隆 氏(臨床心理士・公認心理士)

(ク)各種研修

回	日 時	場 所	内 容
1	1日目 6月2日(木) 2日目 6月7日(火) 3日目 6月13日(月)	1日目 (ZOOM) 2日目 (ZOOM) 3日目 千葉県庁本庁舎5階大会議室	千葉県生活困窮者自立支援制度 初任者研修
2	6月25日(土)	(ZOOM)	千葉県生活困窮者自立支援実務者ミーティング 「生活困窮者自立支援法の見直しに向けた論点整理のポイントと今後」 講師 厚生労働省 社会・援護局 生活困窮者自立支援室長 唐木 啓介氏

3	9月～11月	動画配信 ①9月中旬 ②10月中旬 ③9月上旬～ ライブ配信 ①11月26日 ②11月30日 ③10月8日	生活困窮者自立支援制度人材養成研修 ①相談支援員養成研修 ②就労支援員・就労準備支援事業従事者養成研修 ③家計改善支援事業従事者養成研修
4	1日目 11月30日(木) 2日目 12月5日(月) 3日目 12月7日(水)	1日目 (ZOOM) 2日目 千葉県庁本庁舎 5階大会議室 3日目 千葉県庁本庁舎 5階大会議室	千葉県生活困窮者自立支援制度従事者研修
5	11月～2月	オンデマンド動画配信 (1)11月中旬 (2)12月中旬 ライブ配信 (1)12月20日 (2)2月1日	生活困窮者自立支援制度人材養成研修 テーマ別研修 (1)孤独・孤立の理解とアウトリーチ相談支援研修 (2)生活困窮者支援における子どもと家族支援研修
6	11月25日(金)	(ZOOMを利用)	千葉県生活困窮者自立支援実務者ネットワーク 家計改善支援部会 第1回研修会
7	12月15日(木) 12月16日(金)	1日目 (ZOOM) 2日目 (ZOOM)	生活困窮者自立支援制度におけるブロック別研修
8	2月18日(土)	千葉県弁護士会館	第11回 千葉県&長野県生活困窮者自立支援実務者ミーティング
9	3月10日(金)	千葉県教育会館 会議室501	ダイバーシティ就労モデル事業報告会

(カ)会議等参加

回	開催日	場 所	内 容
1	9月16日(金)	千葉県社会福祉センター 5階大会議室	生活困窮者自立支援事業受託社協連絡会議
2	11月期間内	動画配信	第9回生活困窮者自立支援全国研究交流大会

(キ)広報

本事業を幅広く周知すること並びに活用促進を目的として、民生委員児童委員協議会、行政関係部署等にチラシによる周知依頼を行った。

(ク) 民生委員児童委員協議会への制度周知

開催日	地区民児協	会 場	内 容
4月	理事会	社会福祉センター	チラシによる周知

(ケ) 調査

回	調査名	調査依頼元
1	新たな相談者層への対応と相談員等の支援体制に関する調査	三菱 UFJ リサーチ & コンサルティング(株) 政策研究事業本部 経済政策部内
2	令和4年度厚生労働省社会福祉推進事業 タイムスタディ調査等による自立相談支援機関等の業務実態調査	一般社団法人北海道総合研究調査会(HIT ヒット)

(コ) 仕事と暮らしの出張相談会

回	日 時	場 所	相談件数
1	8月17日(水)	西部地域福祉センター相談室	相談者1名(新規0名、継続相談者1名)
2	11月16日(水)	西部地域福祉センター相談室	相談者3名(新規1名、継続相談者2名)
3	2月15日(水)	西部地域福祉センター相談室	相談者1名(新規0名、継続相談者1名)

(サ) 学習・生活支援事業

くらしサポートセンター佐倉では、学習支援活動を行う会場の施設予約、教科書やワーク等学習支援に必要な教材の購入や貸出、保険等の事務作業や、学習支援活動団体懇談会等、各ボランティア団体が活動しやすいよう側面的な支援を行った。

a. 佐倉市内学習支援活動団体懇談会

回	日 時	場 所	内 容
1	11月2日(水)	地下研修室	(1) 学習支援活動の状況報告 (2) 意見交換
2	3月4日(火)	地下研修室	(1) 学習支援団体等研修会について ゲストスピーカー NPO法人モチモチの森 理事長 青山 春美 氏 (2) 学習支援活動にかかる個人情報の取り扱いについて (3) 意見交換

(シ) 自立相談支援(ひきこもり)

a. 社会参加支援 (社会参加支援活動の実践状況)

No.	内 容
1	対象者に対しての外出支援:中山競馬場、成田山公園へ電車で移動。パニック発作あり電車に乗れず市役所へも車で送迎を行っていたが、電車で一人で移動できるようになった。他にお菓子作り、洗車、就労準備プログラムとして集団での小物づくり、ボードゲーム会に参加。
2	対象者に対しての外出支援:佐倉ラベンダーランド、草笛の丘、佐倉ふるさと広場。就労準備プログラムとして小物づくり、筋トレ、音楽、ソメイノファーマーズマーケットへ参加。
3	対象者と就労継続支援A型へ見学同行。
4	対象者へ障害者年金申請書作成のサポート、年金事務所同行。受給開始となった。
5	対象者と精神科デイケアへ見学同行。就労準備プログラムにて畑作業、小物づくり、音楽、筋トレに参加。
6	対象者と就労移行支援へ見学同行。洗車、お菓子作り、パソコン作業を行う。介護初任者研修受講サポート。
7	洗車、切手作業参加。就労準備プログラムにて畑作業、音楽、筋トレ、ゲーム会に参加。ユニバーサル就労を利用開始。
8	洗車、パソコン作業参加。就労準備プログラムにて畑作業、音楽、筋トレに参加。コンビニのアルバイト開始。
9	対象者と1対1で洗車・パソコン作業、切手作業を行う。
10	対象者と1対1で洗車・パソコン作業、切手作業を行う。就労準備プログラムにて畑作業、音楽、筋トレ、小物づくりに参加。市役所清掃業者にて短時間勤務開始。学習支援ボランティアに参加。
11	市役所清掃勤務中に市役所警備会社隊長よりスカウトされ、正職員として勤務継続中。
12	ユニバーサル就労開始、継続中。
13	就労準備プログラムにて畑作業、音楽、筋トレ参加。
14	就労移行支援見学同行。
15	就労準備プログラムにて畑作業参加。
16	ハローワーク同行。弁護士相談同席。
17	外出支援として秋葉原でボードゲーム購入。就労準備プログラムとしてゲーム大会に3回参加。

b. ひきこもり家族の会

回	日 時	場 所	内 容
1	6月24日(金)	志津公民館	ゲスト: 井原 公平 氏 (元ひきこもり当事者) 保護者同士の体験の分かち合い

(ス)就労準備プログラム

実施状況

実施月	内 容	利用者
R4.5	さつま芋植え、じゃが芋の土かぶせ。 スイカのビニールトンネルをはずし肥料を与える。	4名
R4.6	じゃが芋収穫祭&落花生植え付け体験。	5名
R4.7	タイルコースター作り体験。	6名
R4.8	身体を動かしてストレッチ効果を得て心身ともにより影響を受ける。	5名
R4.8	9月の収穫に向けて畑の草取り。	5名
R4.9	さつま芋の収穫祭と大根の植え付け体験。	6名
R4.10	落花生の収穫祭。	4名
R4.10	染井のファーマーズマーケット出店の為のお店作り。	5名
R4.10	染井のファーマーズマーケットにて販売。	4名
R4.10	里芋の収穫祭・大根の間引き体験。	6名
R4.11	コップで音楽を楽しもう。	5名
R4.12	クリスマス&忘年会。	6名
R5.1	大根の収穫祭&配布。グラス演奏の練習。	5名
R5.2	グラス演奏を楽しもう。	4名
R5.3	じゃが芋、里芋植え体験。	4名

(セ)ハローワークの巡回相談

1.実施期間:R4.4~R5.3

2.実施方法:成田公共職業安定所の就職支援ナビゲーターが当窓口に来所され、1回2時間をかけて利用者の相談に応じた。

(ソ)千葉県弁護士会社会福祉委員会との連携事業(お試し相談)

1.実施期間: R4.12~R5.3まで

2.実施方法:各月の担当弁護士1名が当窓口に来所され、1回2時間をかけて利用者の相談に応じた。

(6) 介護人材確保対策事業

実施内容

高齢者が住み慣れた地域で必要とする福祉サービスを利用できる地域社会を目指し、福祉を担う人材育成を目的に介護職員初任者研修を実施した。受講者22名中21名が修了し、介護知識・技術の向上並びに新たな福祉人材の市内福祉施設への就職に繋がった。

講座名		時間数	開講日	時間	講師所属等	講師
開講式・オリエンテーション		—	令和4年	9:00～ 9:30		
1-1	多様なサービスの理解	3	11/8(火)	9:30～11:00	特別養護老人ホーム 佐倉白翠園	竹内 淳
				11:10～12:40		
1-2	介護職の仕事内容や働く現場の理解	3	11/8(火)	13:40～15:10		
				15:20～16:50		
2-1	人権と尊厳を支える介護(1)	3	11/10(木)	9:00～10:30	佐倉市社会福祉協議会	杉山 美枝子
				10:40～12:10		
	人権と尊厳を支える介護(2)	3	11/10(木)	13:10～14:40		
				14:50～16:20		
2-2	自立に向けた介護	3	11/15(火)	9:00～10:30	特別養護老人ホーム 佐倉白翠園	小笠原 健
				10:40～12:10		
3-1	介護職の役割、専門性と多職種との連携	1.5	11/15(火)	13:10～14:40	特別養護老人ホーム ゆたか苑	内川 浩明
3-2	介護職の職業倫理	1.5	11/15(火)	14:50～16:10		
3-3	介護における安全の確保とリスクマネジメント	1.5	11/22(火)	13:10～14:40	障害者相談支援事業所 レインボー	新井 真由美
3-4	介護職の安全	1.5	11/22(火)	14:50～16:20		
4-1	介護保険制度	3	11/17(木)	9:00～10:30	千葉県社会福祉士会	岡本 崇広
				10:40～12:10		
4-2	医療との連携とリハビリテーション	3	11/22(火)	9:00～10:30	千葉県 リハビリテーションセンター	田中 康之
				10:40～12:10		
4-3	障害者福祉制度及びその他制度	3	11/24(木)	9:00～10:30	千葉県社会福祉士会	岡本 崇広
				10:40～12:10		
5-1	介護におけるコミュニケーション	3	11/29(火)	9:00～10:30	社会福祉法人愛光	近藤 美貴
				10:40～12:10		
5-2	介護におけるチームコミュニケーション	3	11/29(火)	13:10～14:40	社会福祉法人愛光	近藤 美貴
				14:50～16:20		
6-1	老化に伴うこころとからだの変化と日常	3	12/1(木)	9:00～10:30	佐倉市志津北部 地域包括支援センター	梅崎 由貴
				10:40～12:10		
6-2	高齢者と健康	3	12/6(火)	9:00～10:30	宍戸内科医院	宍戸 智子
				10:40～12:10		

7-1	認知症を取り巻く状況	1.5	12/6(火)	13:10~14:40	佐倉市志津南部 地域包括支援センター	高橋 一江
7-2	医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	1.5	12/6(火)	14:50~16:20		
7-3	認知症に伴うこととからだの変化と日常生活	1.5	12/8(木)	9:00~10:30	佐倉市佐倉 地域包括支援センター	松尾 徳子
7-4	家族への支援	1.5	12/8(木)	10:40~12:10		
8-1	障害の基礎的理解	1	12/8(木)	13:10~14:10	さくら総合発達支援センター ホープ	塚本 淳智
8-2	障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかり支援等の基礎的知識	1	12/8(木)	14:20~15:20		
8-3	家族の心理、かかり支援の理解	1	12/8(木)	15:30~16:30	障害者相談支援事業所 レインボー	新井 真由美
9-1	介護の基本的な考え方	2	12/16(木)	13:10~14:10 14:20~15:20	成田国際福祉専門学校	鈿地 平子
9-2	介護に関するところのしくみの基礎的理解	5	12/15(木)	9:00~10:30 10:40~12:10 13:10~14:10 14:20~15:20	地域生活支援センター レインボー	鎌田 大輔
9-3	介護に関するからだのしくみの基礎的理解	5	12/20(火)	9:00~10:30 10:40~12:10 13:10~14:10 14:20~15:20	宍戸内科医院	宍戸 智子
9-4	生活と家事	6	12/22(木)	9:00~10:30 10:40~12:10 13:10~14:40 14:50~16:20	佐倉市社会福祉協議会	寺田 清美
9-5	快適な居住環境整備と介護	3	1/10(火)	13:30~15:00 15:10~16:40	千葉県 リハビリテーションセンター	田中 康之
9-6	移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護(1)	6	1/12(火)	9:00~10:30 10:40~12:10 13:10~14:40 14:50~16:20	特別養護老人ホーム さくらの丘	村本 二郎
9-6	移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護(2)	6	1/17(木)	9:00~10:30 10:40~12:10 13:10~14:40 14:50~16:20	特別養護老人ホーム さくらの丘	村本 二郎
9-7	整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	6	1/19(木)	9:00~10:30 10:40~12:10 13:10~14:40 14:50~16:20	特別養護老人ホーム 志津ユーカー苑	大塚 和紀
9-7	整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	6	1/19(木)	9:00~10:30 10:40~12:10 13:10~14:40 14:50~16:20	成田国際専門学校講師	鈿地 平子

9-8	食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	6	1/24(火)	9:00～10:30	成田国際専門学校講師 鈕地 平子	
				10:40～12:10		
				13:10～14:40		佐倉市社会福祉協議会 寺田 清美
				14:50～16:20		
9-9	入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	6	1/26(木)	9:00～10:30	特別養護老人ホーム さくら苑 飯塚 純子	
				10:40～12:10		
				13:10～14:40	成田国際専門学校講師 鈕地 平子	
				14:50～16:20		
9-10	排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	6	1/31(火)	9:00～10:30	特別養護老人ホーム はちす苑 梶 直芳	
				10:40～12:10		
				13:10～14:40	特別養護老人ホーム ユーカリゆうとの杜 伊東 洋詩	
				14:50～16:20		
9-11	睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護について	4.5	2/2(木)	9:00～10:30	特別養護老人ホーム ときわの杜 小山 美紀	
				10:40～12:10		
				13:10～14:40	ひまわりの里 佐藤 園子	
9-12	死にゆく人に関連したところとからだのしくみと終末期介護	1.5	2/2(木)	14:50～16:20	宍戸内科医院 宍戸 智子	
9-13	介護課程の基礎的理解	2	2/7(火)	9:00～10:00	ケアプラン・ボンド 高梨子 淳一	
				10:10～11:10		
9-14	総合生活支援技術演習	4	2/7(火)	11:20～12:20	ケアプラン・ボンド 高梨子 淳一	
				13:20～14:50		
				15:00～16:30	成田国際専門学校 鈕地 平子	
9-14	総合生活支援技術演習	6	2/9(木)	9:00～10:30	ケアプラン・ボンド 高梨子 淳一	
				10:40～12:10		
				13:10～14:40	成田国際専門学校 鈕地 平子	
				14:50～16:20		
10-1	振り返り	2	2/21(火)	9:00～10:00		
				10:10～11:10		
10-2	就業への備えと研修修了後における継続的な研修	2	2/21(火)	11:20～12:20	成田国際専門学校 鈕地 平子	
				13:20～14:20		
	効果測定		2/28(火)	9:00～12:10		
	閉講式(修了証書授与等) 市内社会福祉施設就職説明会		3/3(木)	10:00～12:00		

授業時間数 130

(会場:佐倉市社会福祉センター地下研修室)

9 基金

実施内容

自主財源の確保を目的として福祉基金を設置し、趣旨に賛同して寄せられた寄附金により資金造成を行っている。
運用に関しては、定期預金は、期間を1年、2年に分散しての預入れ、債券は30年の公債を保有し、各事業実施のため福祉基金の取り崩し及び基金から生ずる利息の確保に努めた。
菊地久治勉学奨励基金、元気に育て子ども基金、稲垣成こ勉学奨励基金、福得孝養基金は、取り崩して奨学福祉事業、生活困窮世帯子ども支援事業、終末ケア・終活支援事業、食を軸とする場づくり事業の各事業費に充当させている。

(1) 福祉基金

基金総積立額	145,876,467円	
令和4年度寄附金額	379,900円	
配分額	14,294,213円	
内 訳	法人運営	12,719,213円
	地域福祉ネットワーク	1,575,000円

(2) 菊地久治勉学奨励基金

基金総積立額	100,274,149円	
勉学奨励金配分額	7,104,490円	
内 訳	勉学奨励奨学金として	6,724,490円
	勉学奨励一時金として	380,000円

(3) 元気に育て子ども基金

基金総積立額	43,812,096円
令和4年度寄附金額	10,217,840円
子ども支援金配分額	1,024,132円

(4) 稲垣成こ勉学奨励基金

基金総積立額	15,347,605円
令和4年度積立金額	7,700円

(5) 福得孝養基金

基金総積立額	23,167,750円
令和4年度寄附金額	12,100,000円
令和4年度積立金額	12,100,000円

10 共同募金配分事業

(1) 歳末たすけあい運動

実施内容

経済的に支援が必要な在宅生活者が明るい正月を迎えられよう、支援金を贈るとともに、佐倉市内で生活に困窮する方を年間を通じて支援する活動団体への助成金による支援のため、「歳末たすけあい募金配分内容検討委員会」において、コロナ禍のため書面会議により検討・協議を経て、配分額等を決定した。対象者の確認、支援金の配分は、民生委員・児童委員協議会の協力で実施し、歳末たすけあい助成金を募集し地域配分を行った。

(ア) 歳末たすけあい募金配分内容検討委員会

回数	開催日	会場	内容
第1回	5月13日(金)	佐倉市社会福祉センター・リモート併用	<報告事項> ・令和3年度 歳末たすけあい募金・配分実績について <協議事項> ・令和4年度 歳末たすけあい運動配分内容の検討について
第2回	7月12日(火)	佐倉市社会福祉センター地下研修室	<報告事項> ・令和3年度 歳末たすけあい募金・配分実績について ・令和4年度 歳末たすけあい募金配分事業配分計画について <協議事項> ・委員長、副委員長の選出について ・令和4年度 歳末たすけあい募金助成金の申請団体の選考について

(イ) 民生委員・児童委員協議会での歳末たすけあい運動の協力依頼

	理事会	単位地区定例会
9月	配分対象者の確認(調査)依頼	同左
10月	配分対象者の確認(調査)台帳回収	同左
11月	配分対象者「確認票」の配布	同左
12月	配分対象者への「在宅支援金」交付・「受領簿」の配布	同左
1月	在宅支援金「受領簿」回収と戻入金受付・不在者引継ぎ対応	同左
3月	歳末たすけあい運動事業報告(書面)	同左

(ウ) 在宅支援金の配分実績

(単位:円)

区分	種別	対象世帯数	金額(円)	令和4年度		令和3年度		令和2年度	
				対象世帯数	金額(円)	対象世帯数	金額(円)	対象世帯数	金額(円)
要保護世帯	一般低所得世帯	単身	8,000	10	80,000	14	112,000	13	130,000
		家族あり	11,000	26	286,000	25	275,000	18	216,000
		家族(子あり)	13,000	125	1,625,000	116	1,508,000	112	1,568,000
	母子・父子世帯	子1人	11,000	120	1,320,000	131	1,441,000	143	1,716,000
		子2人以上	14,000	216	3,024,000	206	2,884,000	205	3,075,000
	ひとり暮らし高齢者世帯	8,000	141	1,128,000	146	1,168,000	166	1,660,000	

要 保 護 世 帯	ねたき高齢者世帯	単身	8,000	0	0	0	0	0	0
		家族あり	11,000	2	22,000	2	22,000	3	36,000
	心身障がい児・者世帯	単身	8,000	4	32,000	5	40,000	6	60,000
		家族あり	11,000	9	99,000	10	110,000	13	156,000
	罹災世帯	単身	8,000	0	0	0	0	0	0
		家族あり	11,000	1	11,000	0	0	0	0
合 計				654	7,627,000	655	7,560,000	679	8,617,000

(エ) 歳末たすけあい募金助成金

通 年 事 業	内 訳	金 額
年間を通しての生活困窮者等への活動助成金	50,000円×21団体	1,050,000円
	合計 21団体	1,050,000円

(オ) 配分合計

在 宅 支 援 金	654世帯	7,627,000円
年間を通しての生活困窮者等への活動助成金	21団体	1,050,000円
事 務 費		372,629円
配 分 合 計	677世帯・団体	9,049,629円

(カ) 募金実績

歳末たすけあい募金目標額	9,420,000円
歳末たすけあい募金実績額	9,112,925円

(キ) 次年度への繰越金

令和3年度末繰越金	8,264,790円
令和4年度募金実績	9,112,925円
令和4年度配分実績	9,049,629円
次年度への繰越金(令和4年度末)	8,328,086円

(2) 児童福祉事業

(ア) 交通遺児見舞金・勉学奨励金・激励金・受験費用助成金の交付

実施内容

交通事故により父親または母親を失った18歳未満の交通遺児(世帯)を対象世帯とし、調査を行い該当する世帯に対し担当地区民生委員の協力を得て見舞金、勉学奨励金・激励金、受験費用助成金の交付を行い交通遺児世帯の激励を行った。	
交通遺児該当世帯	なし
見舞金 交付金額	なし
勉学奨励金 交付金額	30,000円
激励金 交付金額	120,000円
受験費用助成金額	48,000円

11 共同募金事業への協力

実施内容

共同募金事業について、市民の理解を求めるとともに、たすけあい精神を高め、市民の善意を結集した募金運動を千葉県共同募金会佐倉市支会と協力して行う。
募金活動は、10月1日から、各自治会・町会・区の協力による戸別募金、法人・学校・職域・イベント等で実施する。駅頭や大型店舗等において、ボランティアグループ及び個人・地区社協・学校等の協力による街頭募金はコロナ禍のため中止。

(ア)赤い羽根募金

募金目標額 14,160,000円

募金実績額 12,214,476円

(イ)歳末たすけあい募金

募金目標額 9,645,000円

募金実績額 9,112,925円

(ウ)赤い羽根共同募金説明会

地区代表者に対して共同募金運動についての説明、協力依頼を行った。また、自治会あてに送付した資料にて共同募金運動についての説明、協力依頼を行った。

開催日時	会場	対象者
令和4年4月23日10:00～11:15	中央公民館ホール	地区代表者(希望者)
令和4年4月23日14:00～15:15	中央公民館ホール	地区代表者(希望者)

(エ)資材発送

9月に地区代表者に対して協力依頼とともに赤い羽根募金資材を発送する作業に協力した。また、歳末たすけあい募金資材については、11月の資材発送作業に協力した。

(オ)共同募金しおりづくり

共同募金をより理解していただくこと、街頭募金活動で啓発用に配布することを目的に実施とした。今年度はガールスカウト佐倉84団にしおりづくりの協力をいただき街頭募金活動で活用した。

(カ)佐倉市オリジナル回覧作成

共同募金運動をすすめる上で、佐倉市内で寄せられた募金がどのように活用されているのかを、その流れとともに昨年の実績を綴った佐倉市オリジナルの回覧物を6,000枚作成し、自治会・町内会等へ配布した。また、学校、法人・団体へも協力依頼とともに配布を行った。

(キ)佐倉市オリジナルDVDの活用

地区代表者からの要望を受け、赤い羽根共同募金の佐倉市内での使われ方をわかりやすく説明するために、平成23年度からオリジナルDVDを作成し、赤い羽根共同募金の周知や講座、街頭募金ボランティア説明会等で活用している。今年度も広報啓発に利用を予定していたが説明会は中止した。

12 居宅介護

(1) 障害福祉サービス事業

障害者総合支援法に基づき、身体障がい者(児)、知的障がい者(児)、精神障がい者にホームヘルパーを派遣し、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、生活全般にわたる援助を行った。

活動実績(地域生活支援事業、生活サポート事業、同行援護事業を含む)

月	利用者数			活動回数		
	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
4月	53人	58人	56人	312回	360回	448回
5月	54人	57人	52人	325回	333回	397回
6月	50人	59人	58人	328回	345回	452回
7月	53人	53人	59人	322回	326回	460回
8月	48人	55人	53人	281回	318回	350回
9月	49人	54人	52人	266回	332回	390回
10月	49人	61人	58人	278回	333回	406回
11月	51人	61人	56人	290回	333回	383回
12月	47人	58人	59人	250回	332回	369回
1月	46人	58人	48人	261回	289回	309回
2月	50人	54人	47人	232回	277回	310回
3月	49人	56人	51人	276回	325回	368回
合計	599人	684人	649人	3,421回	3,903回	4,642回
月平均	50人	57人	54人	285回	325回	387回

(2) 訪問介護員派遣事業

公的制度に該当しない介護又は支援を必要とする高齢者、障がい者、児童等の家庭に訪問介護員を派遣し、自立した日常生活を営むことができるよう、生活全般にわたる援助を行った。

活動実績

月	利用者数			活動回数		
	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
4月	4人	4人	2人	4回	11回	2回
5月	4人	1人	2人	4回	2回	2回
6月	5人	4人	4人	14回	5回	4回
7月	5人	7人	6人	6回	9回	6回
8月	6人	5人	7人	8回	19回	7回
9月	4人	4人	3人	7回	19回	3回
10月	4人	6人	5人	7回	22回	5回
11月	3人	5人	6人	7回	20回	6回
12月	5人	6人	7人	8回	18回	7回
1月	3人	5人	5人	4回	8回	5回
2月	2人	3人	3人	4回	3回	3回
3月	2人	2人	4人	8回	2回	6回
合計	47人	52人	54人	81回	138回	56回
月平均	4人	4人	5人	7回	12回	5回

(3) 相談支援事業

月	利用者数					
	指定計画相談支援			指定障害児童相談		
	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
4月	1人	3人	4人			0人
5月	3人	2人	4人			0人
6月	1人	3人	2人			0人
7月	人	1人	2人			2人
8月	3人	人	4人			0人
9月	人	3人	1人			0人
10月	4人	1人	4人			0人
11月	2人	5人	4人			0人
12月	2人	2人	1人			0人
1月	1人	2人	1人			0人
2月	1人	1人	2人			0人
3月	1人	1人	4人			0人
合計	19人	24人	33人			0人
月平均	2人	2人	3人			0人

13 介護保険

(1) 訪問介護事業

介護保険制度に基づく訪問介護事業を適正に実施するとともに、質の高い介護サービスを提供するための人材育成等を行った。尚、令和2年度から人員体制が3.5人から2.5人に減少したが、実績は高く維持できた。

(ア) 訪問介護活動実績

月	利用者数			活動回数		
	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
4月	22人	21人	18人	248回	202回	144回
5月	20人	21人	18人	228回	200回	171回
6月	23人	21人	17人	243回	218回	190回
7月	23人	21人	20人	245回	205回	212回
8月	21人	21人	21人	241回	204回	206回
9月	19人	21人	24人	217回	209回	255回
10月	20人	22人	24人	205回	217回	258回
11月	20人	22人	23人	190回	208回	247回
12月	20人	24人	23人	184回	209回	214回
1月	19人	22人	22人	159回	182回	190回
2月	17人	20人	23人	152回	179回	199回
3月	18人	20人	19人	180回	213回	205回
合計	242人	256人	252人	2,492回	2,446回	2,491回
月平均	20人	21人	21人	208回	204回	208回

(イ) 総合事業活動実績

月	利用者数			活動回数		
	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
4月	26人	24人	21人	144回	157回	129回
5月	25人	24人	21人	148回	130回	128回
6月	24人	25人	23人	141回	148回	145回
7月	25人	25人	25人	143回	152回	167回
8月	25人	27人	25人	162回	162回	150回
9月	23人	29人	24人	148回	166回	137回
10月	22人	29人	23人	130回	166回	143回
11月	17人	29人	25人	105回	173回	134回
12月	16人	29人	24人	101回	180回	147回
1月	16人	28人	24人	91回	155回	143回
2月	15人	27人	24人	83回	154回	138回
3月	15人	26人	25人	92回	170回	167回
合計	249人	322人	284人	1,488回	1,913回	1,728回
月平均	21人	27人	24人	124回	159回	144回

介護度別利用者内訳

要介護状態区分	利用者数		
	令和5年3月31日現在	令和4年3月31日現在	令和3年3月31日現在
事業対象者	0人	0人	2人
要支援 1	2人	11人	8人
要支援 2	13人	15人	15人
要介護 1	8人	7人	7人
要介護 2	4人	6人	7人
要介護 3	4人	5人	1人
要介護 4	2人	1人	2人
要介護 5	0人	1人	0人
合計	0人	46人	42人

(エ) 訪問介護員

a 訪問介護員登録人数 3月31日在籍者数

令和4年度	19名
令和3年度	23名
令和2年度	32名(同行援護従事者3名含む)

b 訪問介護員会議・研修

会議・研修	開催日	内 容	参加者
全体会	4月17日(日)	雇入通知書交付・令和3年度実績報告 令和4年度事業について	19人
会議・研修会	4月17日(日)	個別研修計画立案 法令遵守・倫理について	19人
会議・研修会	5月15日(日)	同行援護	18人
会議・研修会	6月12日(日)	接遇	17人
会議・研修会	7月10日(日)	虐待	17人
会議・研修会	8月21日(日)	感染症	コロナ禍により書面での研修
会議・研修会	9月11日(日)	災害	コロナ禍により書面での研修
会議・研修会	10月16日(日)	認知証	17人
会議・研修会	11月20日(日)	技術指導	15人
会議・研修会	12月18日(日)	事故防止	17人
会議・研修会	1月15日(日)	困難ケース	18人
会議・研修会	2月19日(日)	ヒヤリハット	14人
会議・研修会	3月19日(日)	プライバシー保護	18人
		合計	189人

(2) 居宅介護支援事業

令和4年4月の人員体制は2.0人だったが、令和5年3月には、利用者の減少とともに1.5人に変更された。介護度別利用者を見ると、要支援1及び2～要介護1及び2までの方が多く、要介護3から要介護4及び5の人は、施設入所の申し込みをされ入所される傾向にある。認定調査に関しては、コロナ前は月3件の依頼があったが、1年延長申請の希望者が定着しており、昨年同様に佐倉市からの委託件数は戻っていない。

	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
4月	55人	62人	67人	77人
5月	52人	58人	67人	75人
6月	53人	56人	67人	76人
7月	51人	55人	64人	76人
8月	48人	55人	66人	71人
9月	54人	53人	71人	79人
10月	52人	54人	71人	79人
11月	51人	57人	71人	78人
12月	47人	56人	70人	77人
1月	47人	51人	71人	76人
2月	40人	50人	68人	75人
3月	41人	51人	68人	75人
合計	591人	658人	821人	914人
月平均	49人	55人	68人	76人

介護予防支援業務活動実績

	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
4月	31人	27人	26人	43人
5月	30人	26人	28人	45人
6月	30人	27人	28人	51人
7月	32人	27人	28人	52人
8月	33人	27人	27人	52人
9月	31人	29人	29人	50人
10月	27人	30人	31人	50人
11月	26人	30人	31人	47人
12月	26人	31人	31人	47人
1月	26人	30人	30人	48人
2月	22人	29人	30人	43人
3月	18人	27人	32人	41人
合計	332人	340人	351人	569人
月平均	28人	28人	29人	47人

介護度別利用者内訳

要介護状態区分	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
事業対象者	1人	2人	2人	2人
要支援 1	11人	9人	11人	12人
要支援 2	16人	20人	19人	27人
要介護 1	19人	20人	26人	23人
要介護 2	12人	16人	17人	29人
要介護 3	10人	11人	18人	12人
要介護 4	5人	3人	6人	7人
要介護 5	2人	1人	1人	4人
合 計	76人	82人	100人	116人

要介護・要支援認定調査業務活動実績

	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
4月	1件	0件	0件	6件
5月	0件	0件	0件	8件
6月	1件	0件	0件	6件
7月	1件	0件	0件	7件
8月	0件	0件	0件	6件
9月	0件	0件	1件	8件
10月	0件	0件	0件	7件
11月	1件	0件	0件	7件
12月	1件	0件	0件	6件
1月	0件	0件	0件	3件
2月	1件	0件	0件	6件
3月	0件	0件	0件	7件
合 計	6件	0件	1件	70件
月平均	1件	0件	1件	6件

II 公益事業

1 指定管理事業

(1) 西部地域福祉センターの管理運営

実施内容

佐倉市との間で締結した佐倉市西部地域福祉センターの管理に関する協定書に基づき、(指定期間：平成31年度から令和5年度まで)適切な管理運営業務を実施した。
 地域住民が地域福祉活動を推進する施設として、その場と機会を提供するとともに福祉活動の拠点とし、志津、志津南、ユーカーが丘及び西志津地区社協の事務局を設置している。
 また、ボランティアセンター、研修、相談等の施設を確保し、ボランティアセンター機能の充実を図ることにより地域福祉の増進に努めた。

(ア)利用状況

人員配置：センター長1人、福祉活動専門員1人、管理員7人

室名	令和4年度		令和3年度		令和2年度	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数
会議室	1,304件	39,749人	783件	25,245人	537件	19,215人
研修室	402件	4,266人	251件	2,679人	253件	3,746人
娯楽室	—	2,330人	—	1,110人	—	8,692人
和室	—	1,247人	—	255人	—	231人
浴室(男)	—	5,022人	—	3,334人	—	1,446人
浴室(女)	—	2,200人	—	1,551人	—	675人
浴室(計)		7,222人		4,885人		2,121人

(イ)相談事業

弁護士による無料法律相談

日時	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
会場	西部地域福祉センター 相談室
相談者数	
内容	千葉県弁護士会の協力を得て、市民からの法律上の専門相談を受け、弁護士による適切な助言で解決を図る目的の事業であるが、コロナ禍のため中止した。

知的障がい児(者)支援相談

日時	4/8,5/13,6/10,7/8,8/12,9/9,10/14, 11/11,12/9,1/13,2/10,3/10 第2金曜日 10時～15時
会場	西部地域福祉センター 相談室
相談者数	4月1名、5月1名、6月1名、7月1名、8月0名、9月0名、10月1名、11月0名 12月1名、1月2名、2月1名、3月1名

相続・遺言・成年後見講演&相談会

日 時	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
会 場	西部地域福祉センター 会議室 相談室
参加者数	
内 容	公益財団法人家庭問題情報センター千葉ファミリー相談室の協力を得て、相続・遺言・成年後見について学ぶ講演会・相談会を開催予定であったが、コロナ禍のため中止した。

行政書士の悩みごと相談会

日 時	4/24、5/27、6/26、7/24、8/28、9/25、10/23、11/27、12/25、1/22、2/26、3/26 第4日曜日 13時～16時
会 場	西部地域福祉センター 相談室
相談者数	4月7名、5月2名、6月8名、7月1名、8月2名、9月1名、10月0名、11月0名、12月1名、1月3名、2月3名、3月2名

(ウ)高齢者交流事業

笑いヨガ・ミュージック

日 時	12/20、1/24 火曜日 14時～15時30分 全2回開催
会 場	西部地域福祉センター 会議室
参加者数	12月20日 15名、1月24日 28名
内 容	主に高齢者を対象として、心身の健康増進及び認知症予防に効果のある「笑い」とミュージックを組み合わせた事業を実施した。コロナ禍で地域住民の閉じこもり生活が長期に及んでいるため、介護予防を目的として開催した。弦楽器、鍵盤楽器、打楽器を使って約20曲を演奏し、参加者は音楽に合わせて歌唱したり、鳴子を使って笑いの健康体操をしてリフレッシュした。

自力整体

日 時	10/2、10/9、11/6、11/13 土曜日 9時30分～12時 全4回開催
会 場	西部地域福祉センター 会議室
参加者数	10月2日 24名、10月9日 18名、11月6日 26名、11月13日 25名。
内 容	高齢者等が医療や介護を必要とせずに、できるだけ長く健康で生活していくために、自分のペースにより自分の体重を活かして、自分の体を整体することにより健康維持を図ることができた。

椅子ヨガ

日 時	2/3、2/10、2/17、3/10、3/17 金曜日 14時～15時30分 全5回開催
会 場	西部地域福祉センター 会議室
参加者数	2月3日 27名、2月10日 23名、2月17日 31名、3月10日 29名、3月17日 31名
内 容	長期にわたるコロナ禍により、特に高齢者のフレイルが課題であるため、介護予防ならびに住民同士の交流を目的に高齢者でも簡単にできる椅子ヨガを企画した。

歌の集い

日 時	令和5年3月12日(日)13時30分から
会 場	西部地域福祉センター 会議室
参加者数	51名
内 容	当初予定していたボランティアグループの代表者が病気により開催が困難になったため、ボランティアグループを変更して実施した。 長期にわたるコロナ禍により、閉じこもり生活が長期に及んでおり、高齢者の介護予防ならびに住民同士が楽しく交流できる機会が必要なため、楽器にあわせて歌唱(懐メロ20曲)を楽しめるイベントを実施した。

コミュニティカフェ・憩え場

日 時	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
会 場	西部地域福祉センター 研修室
参加者数	
内 容	高齢者支援グループ「長いすの会」の協力を得て、高齢者の交流が希薄になりつつある社会の課題に対応するため、ギター演奏の元で合唱を楽しみ、気軽に茶菓を共にして語り合える機会であるが、コロナ禍のため中止した。

介護予防講座

日 時	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
会 場	西部地域福祉センター会議室
参加者数	
内 容	志津南部包括支援センターの協力を得て、運動療法士の指導により高齢者が自分の健康について意識し、日常生活で行うことができる能力トレーニングを習得する事業として予定していたが、コロナ禍のため中止した。

生活安全セミナー

日 時	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
会 場	西部地域福祉センター 会議室
参加者数	
内 容	高齢者に起こりうる交通事故や消費生活などのトラブルを未然に防止するための講座を開催する予定であったが、コロナ禍のため中止した。

(エ)子育て支援事業

親子で楽しむ「モノづくり体験」教室

日 時	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
会 場	西部地域福祉センター 会議室
参加者数	
内 容	佐倉市シルバー人材センターの協力を得て、児童等とその親を対象としてモノづくり体験教室を実施し、児童幼児の健全育成及びその親世代の交流の場として開催予定であったが、コロナ禍のため中止した。

子どものまち・ちびさくら

日 時	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
会 場	西部地域福祉センター 会議室
参加者数	
内 容	NPO法人「子どものまち」の協力を得て、幼児と親を対象として、幼児が買物をできるまちを設定し、買う側と売る側に分かれて楽しむことにより、子育て支援の推進に取り組む事業を開催する予定であったが、コロナ禍のため中止した。

(オ)ボランティアセンター運営事業

夏休みボランティア入門講座「みんなで手話を学ぼう」

日 時	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
会 場	西部地域福祉センター 会議室
参加者数	
内 容	小学生とその親を対象に、「佐倉市ろう者協会」と「手話サークル希望」の協力を得て、ボランティア活動に必要な基礎的知識を理解し、聴覚障がい者に必要な手話を学び、ボランティア活動へ参加するきっかけづくりの場として開催する予定であったが、コロナ禍のため中止した。

ボランティア相談件数

内容	件数
活動相談	34 件
支援相談	6 件
情報提供	36 件

(カ)その他事業

定期利用団体との懇談会

日 時	令和5年3月17日(金)
会 場	西部地域福祉センター 会議室
参加者数	10団体14名
内 容	コロナの感染状況も落ち着いたことから、定期的に当施設を利用されている約30団体に案内を出し、10団体が参加。施設利用に関する要望等を伺い、今後の施設運営に活かす目的であったが、要望事項は聴覚障害者のために骨伝導ヘッドセットを備品として用意して欲しいとの内容1件のみで、他の団体は満足度が高いとの内容であった。

生活支援案内業務

日 時	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
会 場	西部地域福祉センター 談話コーナー
支援者数	
内 容	行政機関や社会福祉協議会が実施している相談業務について、どの相談を利用すればよいのか判断できない方のために、佐倉市シルバー人材センターの協力を得て、各種の相談に向けた案内業務を実施する予定であったが、コロナ禍のため中止した。

Ⅲ 収益事業

1 手数料の収入

(ア)自動販売機の設置

設置台数	11台
金額	1,395,304円

設置場所	設置台数	設置場所	設置台数
西部保健福祉センター	1	佐倉市民体育館	2
レインボープラザ佐倉	1	根郷公民館	1
社会福祉センター	6		

過去3カ年の比較

年度	設置台数	金額
令和4年度	11台	1,395,304円
令和3年度	11台	1,341,256円
令和2年度	15台	1,194,699円

(イ)広告掲載料

社協さくら広告掲載料により、社会福祉事業の資金造成を行った。
社協さくら・ホームページ広告掲載については、本会の法人会員へ勧誘を行った。

売上金等種類	社協さくらへの広告掲載料
金額	330,000円

過去3カ年の比較

年度	金額
令和4年度	330,000円
令和3年度	345,000円
令和2年度	300,000円

社会福祉法人 佐倉市社会福祉協議会

【理事】

会長 長谷川 大美

副会長 兼坂 誠 小林 眞智子

理事 稲阪 稔 宇田川 光三 内田 節子 寺田 純子

業務執行理事 深沢 孝志

【監事】

西原 弘明 守友 英徳

【顧問】

山下 興一郎

【評議員】

池 克志 伊藤 澄子 稲村 多恵子

内川 浩明 上出 和子 小長井 博子

塚田 雅二 土屋 志郎 湯川 芳朗

令和5年3月31日現在

監 査 報 告 書

社会福祉法人佐倉市社会福祉協議会
会 長 長 谷 川 大 美 様

令和4年4月1日から令和5年3月31日までの、令和4年度の理事の職務の執行について監査を行いました。

その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

監事として、理事及び職員等との意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めるとともに、重要な決裁書類を閲覧し業務及び財産の状況を調査しました。

以上の方法により当該会計年度に係る事業報告について検討いたしました。

また、会計帳簿に関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類（計算書類及びその附属明細書）及び財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

① 事業報告等の監査結果

(1) 事業報告及び附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。

(2) 理事の職務の執行に関する不正の行為、または法令、もしくは定款に違反する重大な事実はありません。

② 計算関係書類及び財産目録の監査結果

計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収入支出及び純資産の増減の状況を、全ての重要な点において、適正に処理しているものと認めます。

令和5年5月18日

監 事 西原弘明  印

監 事 寺友英徳  印